



FineReport10.0 入門マニュアル

2019 年 03 月 08 日

バリューテクノロジー株式会社

目次

第一章 入門ユーザガイド

1. 環境説明
2. FineReport デザイナのダウンロード、インストール手順
 - 1) デザイナのダウンロード、インストール
 - 2) デザイナ起動
 - 3) アクティベーションコードの取得
3. FineReport デザイナ使用方法
 - 1) データベース接続
 - 2) テンプレート新規作成
 - 3) データセットについて
 - 4) 帳票作成
 - (1) 簡単な帳票作成
 - (2) 帳票の機能の追加
 - ① 絞り込み機能実装
 - a) 絞り込みパラメータの設定
 - b) パラメータの初期値の設定
 - c) 絞り込み機能実装
 - ② 数式の使用法
 - ③ グラフの挿入
4. 詳細資料

第二章 サーバ構築

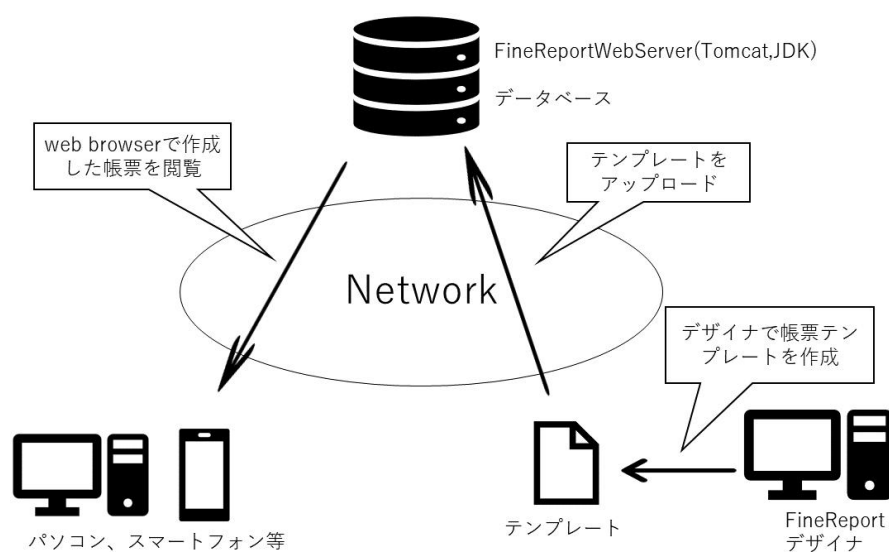
1. Web サーバ構築 (Tomcat サーバ構築例)
 - 1) JDK8.0 ダウンロード
 - 2) Tomcat (WebServer) ダウンロードとインストール
2. FineReport サーバ配置
 - (1) FineReport の独立配置と既存のシステムへの配置の違い
 - (2) 単独で配置する場合の配置方法
 - (3) 単独で配置する場合の配置の成否の確認
 - (4) 既存のシステムへ配置する場合の配置方法
 - (5) 既存のシステムへ配置する場合の配置の成否の確認
3. 管理—ポータル紹介

第一章 入門ユーザガイド

入門ユーザーガイドでは FineReport のダウンロード手順や基本的な操作方法を説明します。

1.環境説明

FineReport デザイナでテンプレート(帳票やダッシュボードのフォームのことを言う)を作成し、サーバにアップロード後、サーバ上のデータベースと連結して、パソコンやスマートフォン等から帳票とダッシュボードの閲覧が可能です。



2.FineReport デザイナのダウンロード、インストール手順

1)デザイナーのダウンロード、インストール

FineReport 公式サイト(<http://fr-trial.value-ict.com/>)から最新バージョンの.exe ファイル、導入説明資料をダウンロードします。

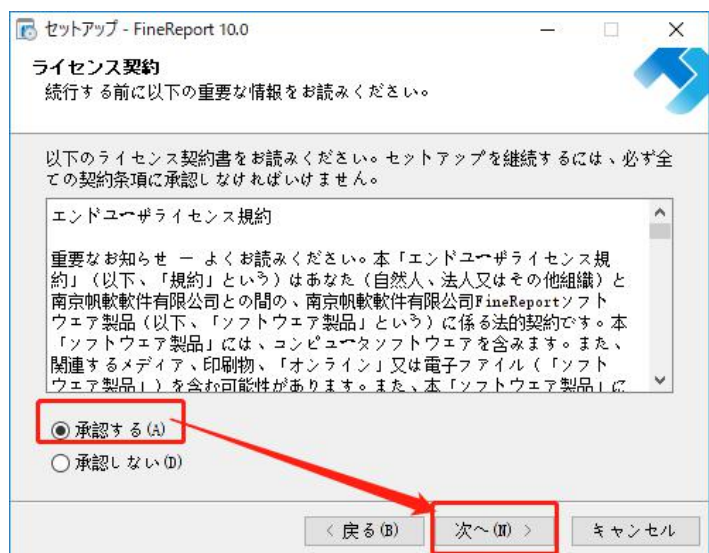




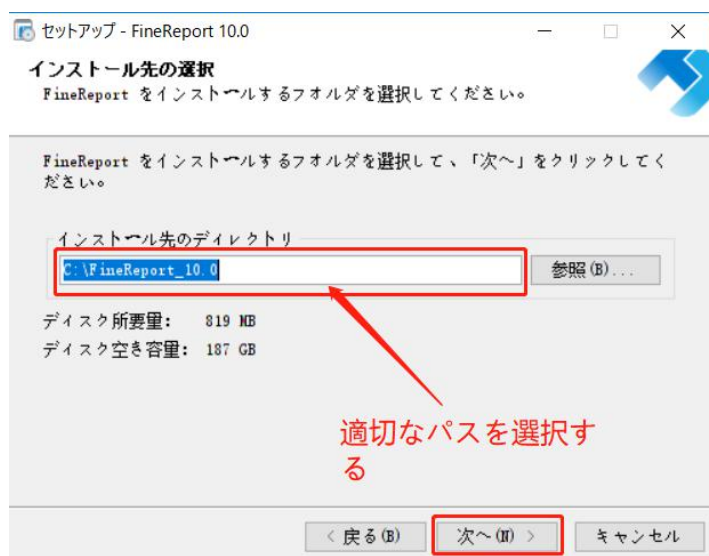
OS(例:Windows)に合わせて選択し、インストールファイル

Windows_FinerepoReport_install.exe をダウンロードします。FineReport インストールファイルをダブルクリックすると、インストールガイドがロードされます。インストールガイドのロードが完了したら、以下のようなダイアログが表示されます。

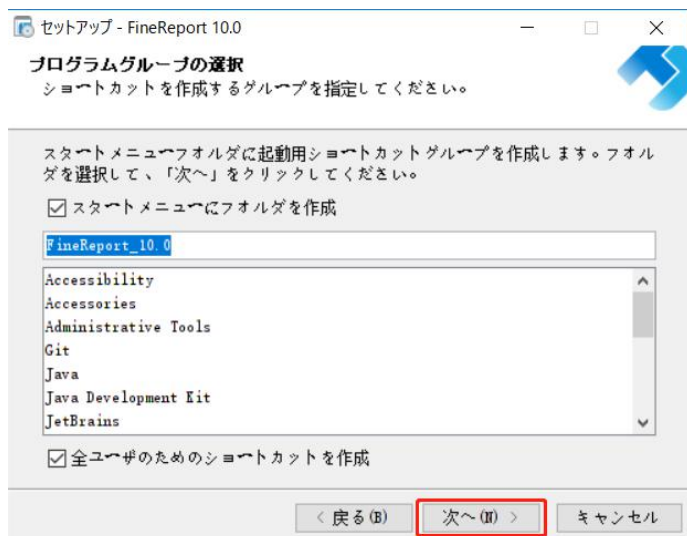
「次へ」ボタンをクリックすると、下図のようなライセンス規約ダイアログが表示されます。



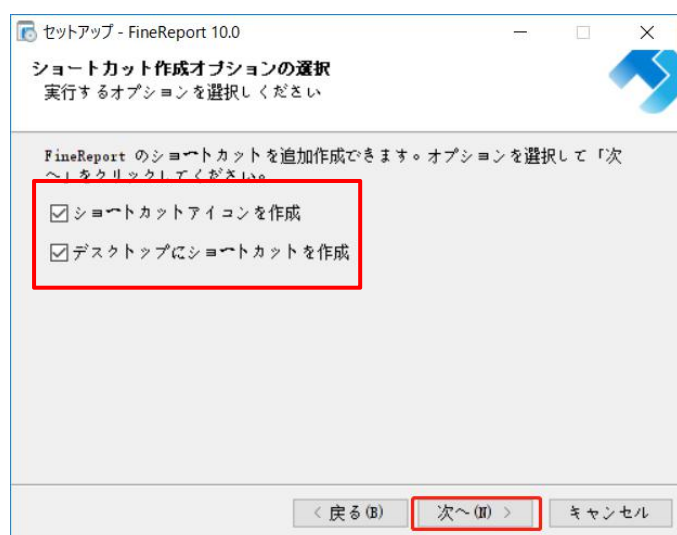
「規約に同意する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックすると、下図のようなインストール先選択ダイアログが表示されます。



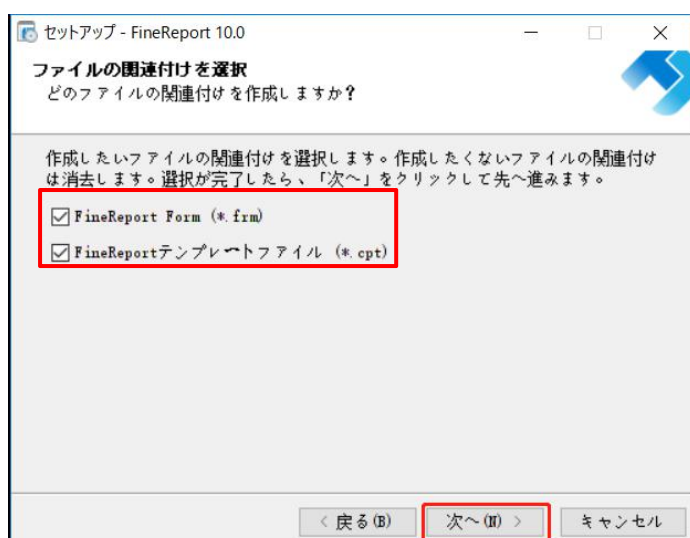
「参照」をクリックし、ファイルをインストールするディレクトリを選択して「次へ」ボタンをクリックすると、下図のようなスタートメニューフォルダ選択ウィンドウが表示されます。



「すべてのユーザーにショートカットを作成」をチェックすると、すべてのユーザーのログインにショートカットを使用することができます。「次へ」ボタンをクリックすると、下図のようなオプション選択ダイアログが表示されます。



必要に応じて「ショートカットアイコンを作成」と「デスクトップにショートカットを作成」にチェックします。「次へ」ボタンをクリックすると、下図のようなファイル関連付けダイアログが表示されます。



FineReportテンプレートファイルの必要に応じてチェックしてください。選択肢のチェックを外すと、テンプレートファイルはインストールパスにはインストールされません。続けて「次へ」ボタンをクリックするとインストール完了です。

2) デザイナ起動

対応するアイコンまたはショートカットをクリックすると、デザイナを起動します。



designer.exe

アイコン



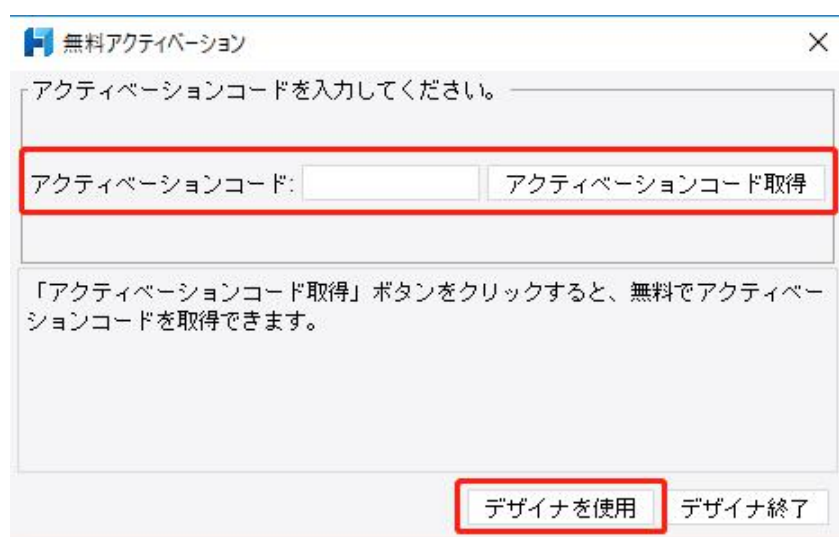
ショートカット

3) アクティベーションコードの入力

デザイナ起動時、初めてレポートソフトウェアをインストールした場合、下図のようなウィンドウが表示されます。公式サイトでお申込みいただいた場合、メールアドレスに送信されたアクティベーションコードを入力してください。（お申込みいただかない場合、**アクティベーションコード取得** ボタンをクリックして、お申込みください。ボタンをクリックすると、お申込みのページにジャンプします。必要な情報を送信すると、アクティベーションコードがメールアドレスに送付されます。）

それから、「デザイナを使用」ボタンをクリックすると、デザイナのアクティベーションが完了します。

※メールを受け取れない場合は、「迷惑メールフォルダ」をご確認ください。



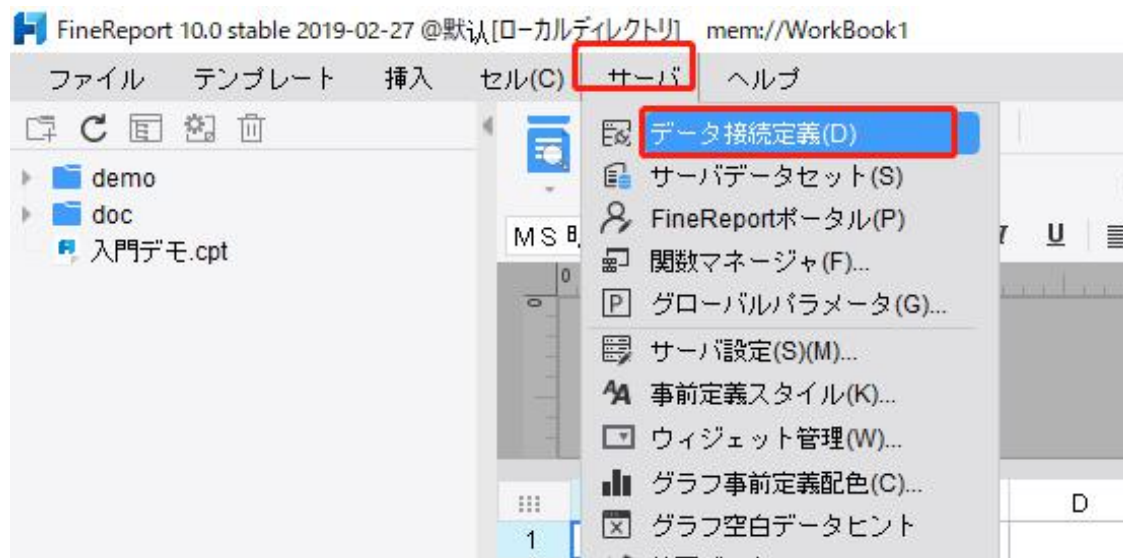
3.FineReport デザイナ使用方法

簡単な FineReport の使用方法を紹介します。詳しい説明資料は下記ドキュメントをご参照ください。

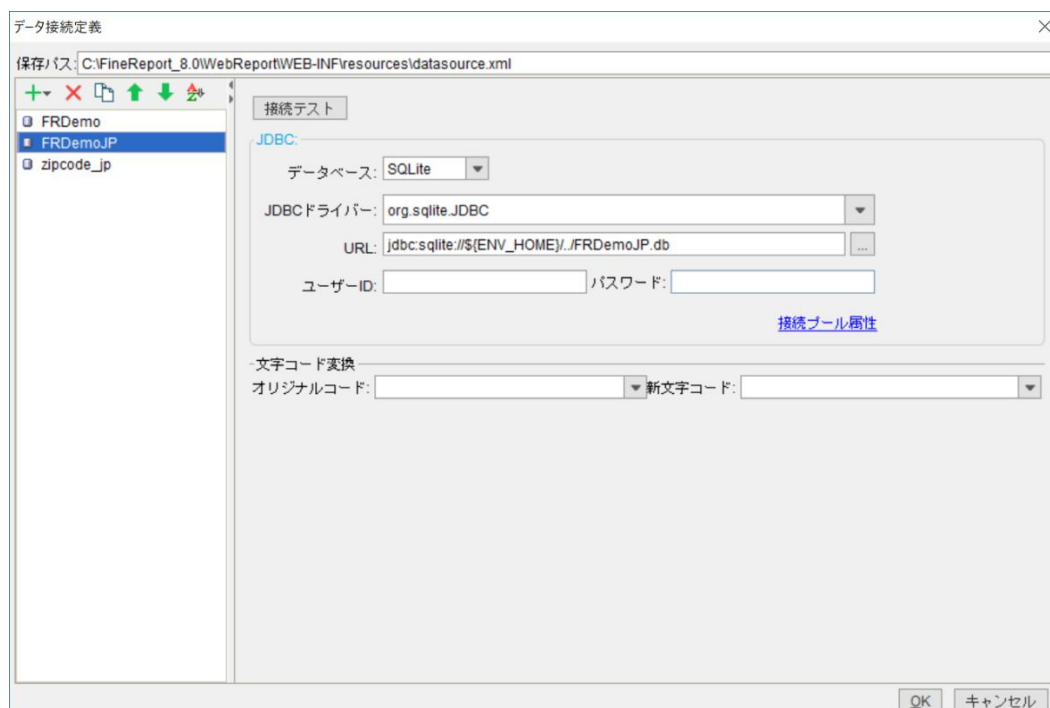
- 日本語「ヘルプドキュメント」:<http://47.74.34.81/display/JHD/Japanese+Help+Document+Home>
- さらに詳しい資料:本書「第一章 ユーザー入門ガイド」⇒「4. 詳細資料」参照

1) データベース接続

帳票にはデータベースを使用するため、まずはデータベースの接続を行います。
デザイナ起動後、メニューをクリックし、「サーバ」⇒「データ接続定義」と選択します。



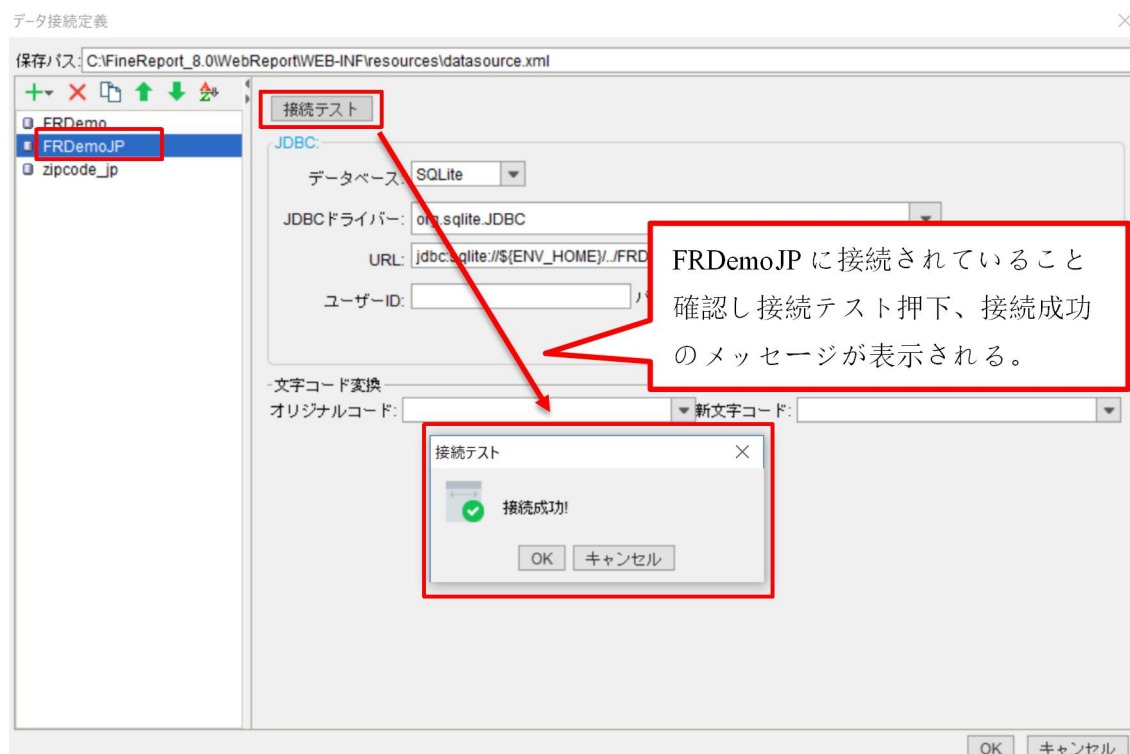
選択すると、下図のようなデータ接続定義のダイアログが表示されます。



データ接続はデータベースとデザイナを接続します。データ接続を行うことにより、データベースからのデータの取得やデータの入力・修正などを行うことができます。

デザイナはデフォルトで、「FRDemoJP」というデータベースに接続されています。

「接続テスト」をクリックし、接続成功のメッセージが表示されると、データベースに正常に接続されたことを表します。



今回接続したデータベースは FineReport 付属のものとなっています。
実際に本番環境で使用する場合は「ヘルプドキュメント
(<http://47.74.34.81/display/JHD/Japanese+Help+Document+Home>)」⇒「設計の考え方」⇒「データ接続」を参照してください。

Japanese Help Document Home

finereport が作成し、2/28, 2019 に Syoki が最終更新

▼ ドキュメント-10.0

▼ クイックスタート

▼ 設計の流れ


- ▼ データ接続
- ▼ データセット
- ▼ テンプレートの製作モード
- ▼ テンプレートプレビュー

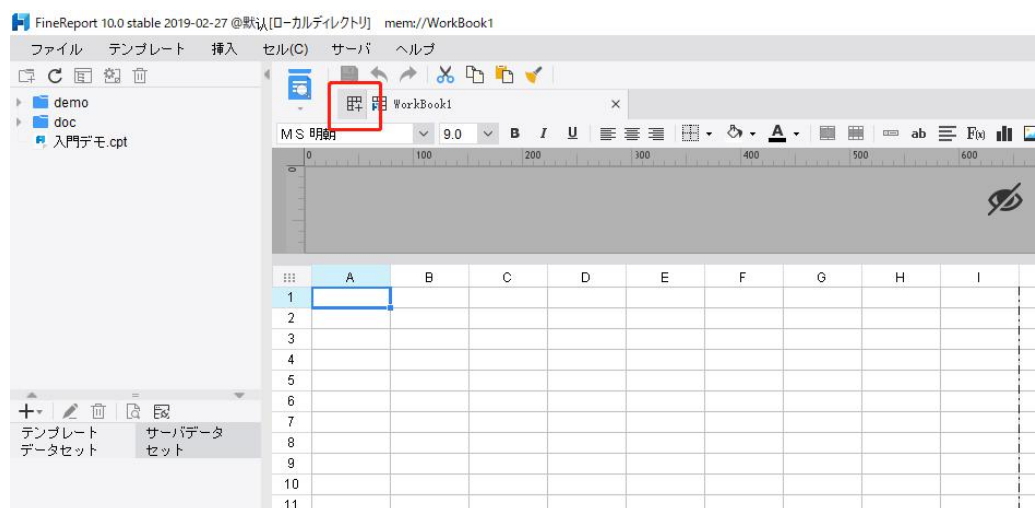
FineReport10.0 トレーニングビデオ (Base)

No.	タイトル	再生時間	No
1	FineReportインストール	0:09:29	13
2	データ接続	0:01:04	14
3	データセット	0:00:56	15
4	明細帳票-縦方向展開	0:01:07	16
5	明細帳票-横方向展開	0:01:00	17

FineReportテンプレートデザイナーとデータベースの接続が完了したら、データベースのデータを使用してテンプレートを編集することができます。

2) テンプレート新規作成


ショートカットツールバーの  ボタンをクリックすると、空白のテンプレートを新規作成できます。

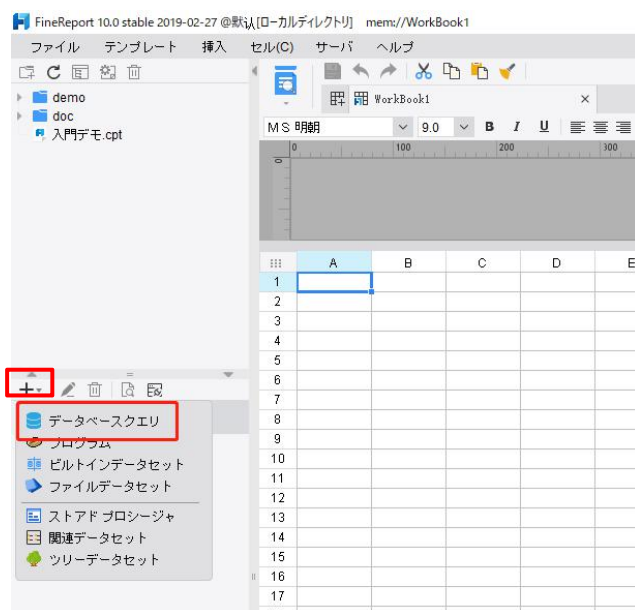


3) データセットについて

データセットは、データベース接続で取り出したデータを元に、帳票テンプレートのため作成するデータです。


データセットの方法は、以下になります。

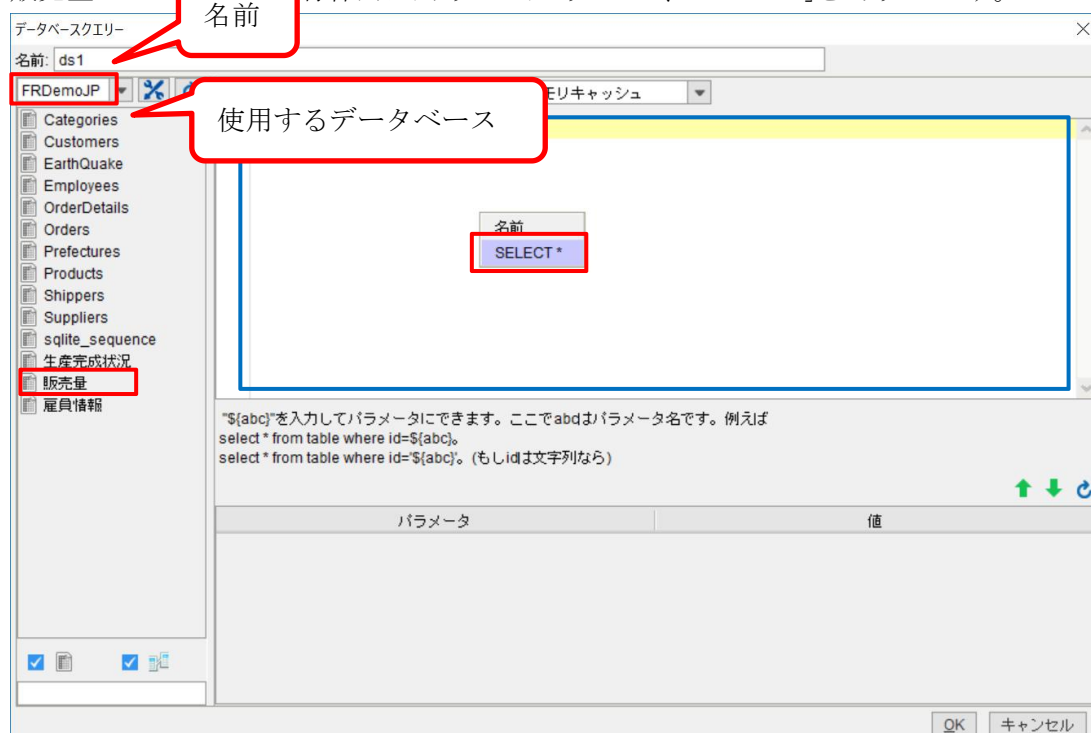
「 ボタン」⇒「データベースクエリ」をクリックします。



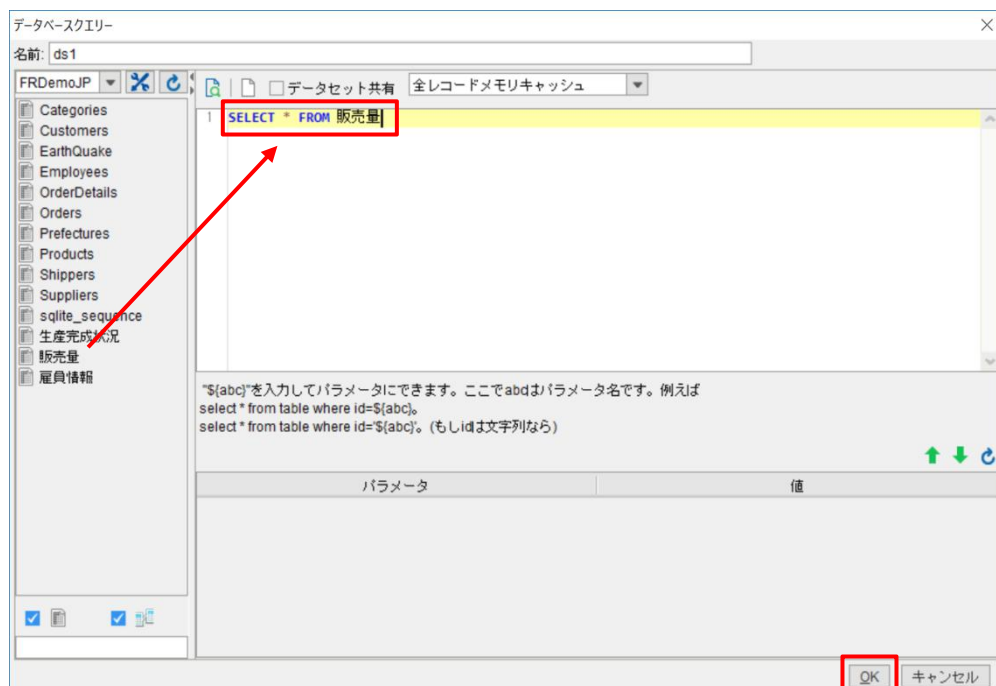
データベースクエリをクリックすると、下図のようなウィンドウが表示されます。

ウィンドウが表示されたら、データセット名の入力を行い、使用するデータベースを選択します。データセット名はデフォルトのまま「ds1」、使用するデータベースは「FRDemoJP」を選択してください。

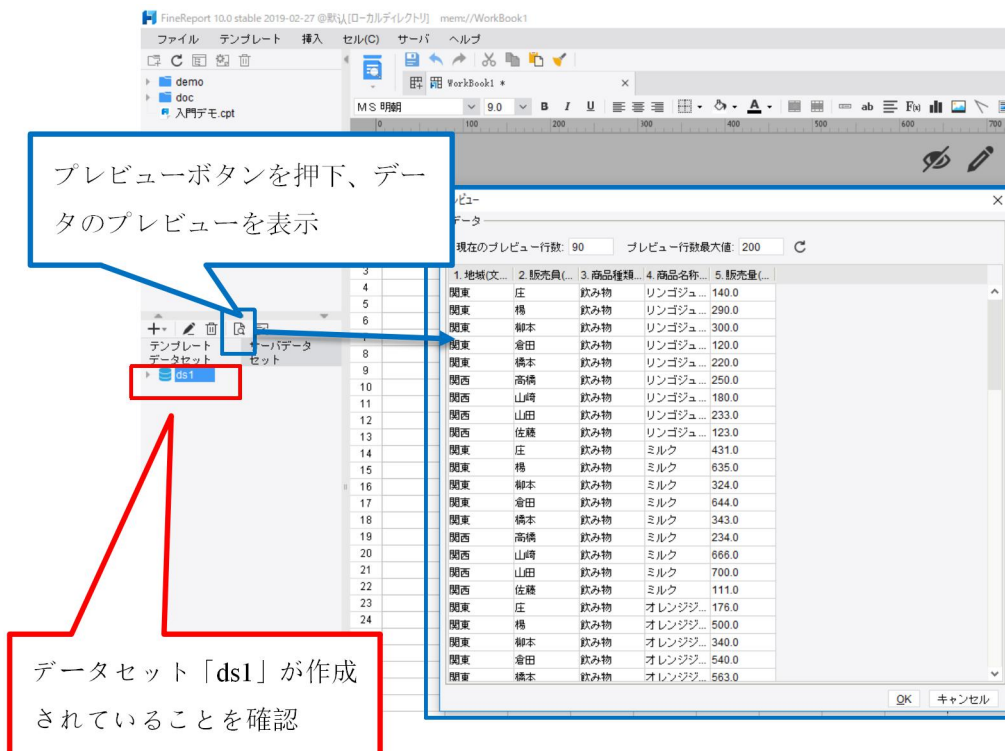
販売量テーブル  青枠内にドラッグ&ドロップして、「SELECT*」をクリックします。



「SELECT*」をクリック後、下図のようなSQL文が入力されるので、OKをクリックします。入力されているSQLがデータセットで作成されるデータの抽出条件となっています。



「ds1」という名前でデータが作成されていることを確認してください。
作成したデータをクリックしプレビューボタンを押下することで、中のデータを確認できます。



4) 帳票作成

FineRportを用いて、実際に表やグラフを作成する例を紹介します。

(1) 簡単な帳票作成

セルの A1～E1 に下図のように項目名を入力してください。

	A	B	C	D	E	F
1	地域	販売員	商品種類	商品名称	販売量	
2						
3						
4						
5						
6						

● データ列の紐付け

先ほど作成したデータセット「ds1」の左にある+ボタンを押下しデータ列を表示します。
各データ列を表示したいセルにドラック&ドロップします。

	A	B	C	D	E	F
1	地域	販売員	商品種類	商品名称	販売量	
2	ds1.G(地域)	ds1.G(販売員)	ds1.G(商品種類)	ds1.G(商品名称)	ds1.G(販売量)	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						

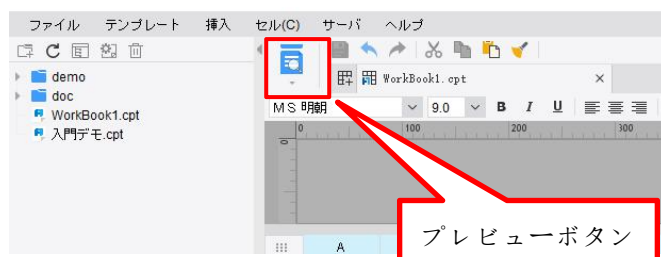
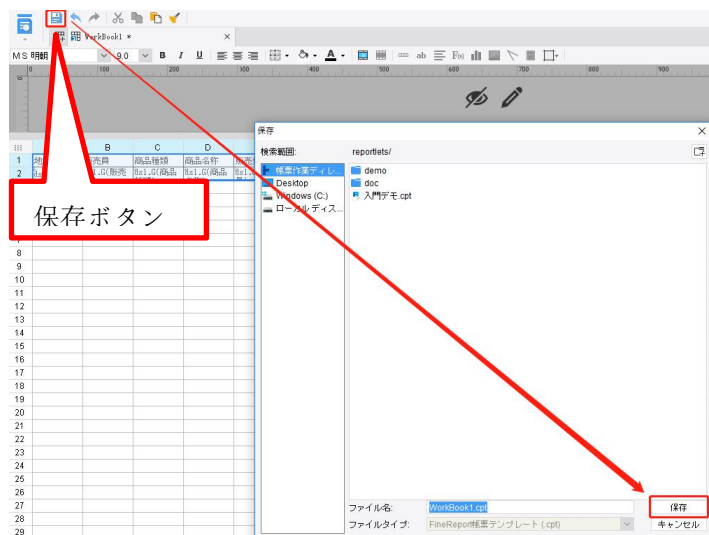
● 書式変更

セルの A1～E2 までを選択しセルの属性表-スタイルから枠線を選択しスタイルを設定します。

	A	B	C	D	E
1	地域	販売員	商品種類	商品名称	販売量
2	ds1.G(地域)	ds1.G(販売員)	ds1.G(商品種類)	ds1.G(商品名称)	ds1.G(販売量)
3					
4					

● 保存、プレビュー

作成したテンプレートを保存するには保存ボタンをクリックし任意の名前を付けて保存してください。保存後、保存ボタン左側のプレビューボタンをクリックするとプレビュー画面が表示されます。



下図がプレビュー画面になります。



地域	販売員	商品種類	商品名称	販売量
関東	庄	飲み物	リンゴジュース	140
			ミルク	491
		デザート	オレンジジュース	176
			チョココレート	338
	楊	飲み物	ピープジャッキー	788
			リンゴジュース	290
		デザート	ミルク	635
			オレンジジュース	500
	柳本	飲み物	チョココレート	420
			ピープジャッキー	156
		デザート	リンゴジュース	300
			ミルク	324

以上が簡単な帳票作成の例になります。

(2) 帳票の機能の追加

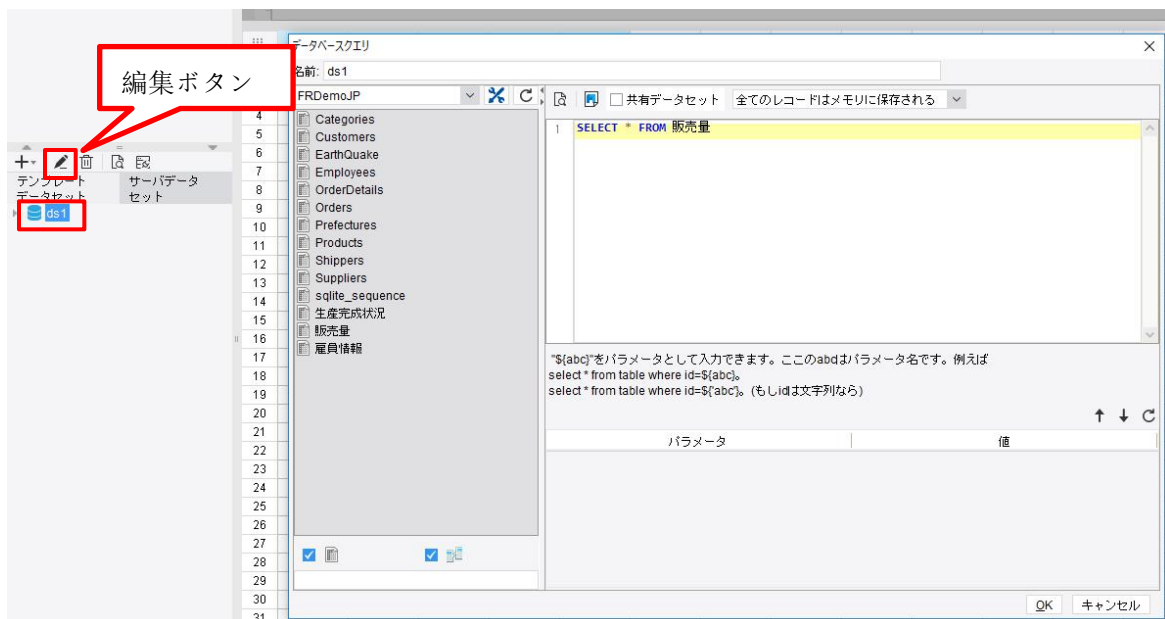
上記の項では簡単な表の作成方法を紹介しました。次はその他の機能やグラフの追加方法を紹介し
ます。

① 絞り込み機能実装

作成した帳票に絞り込み機能を実装する方法を説明します。

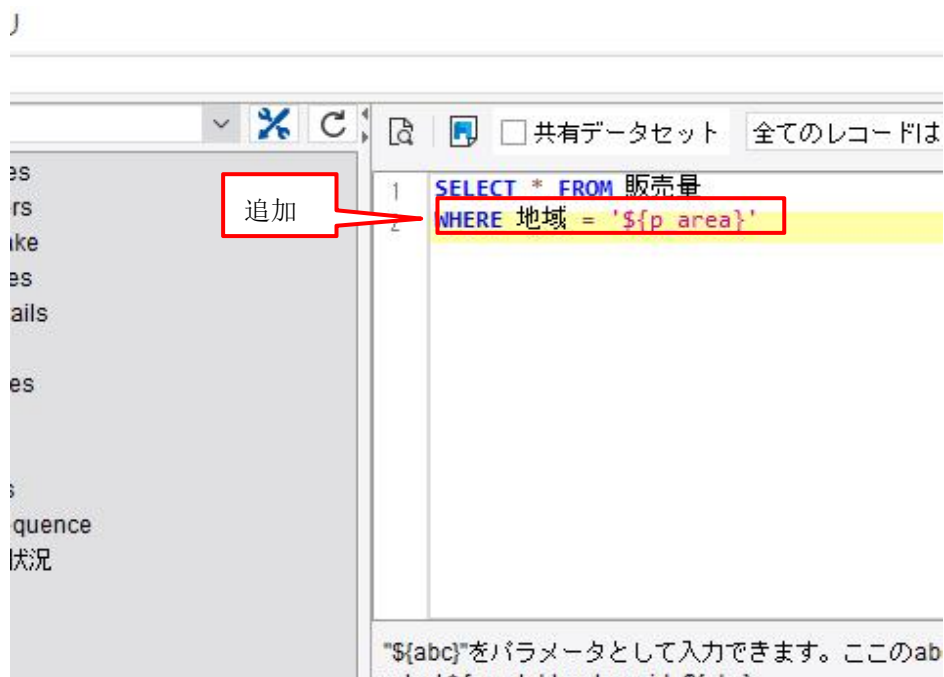
a) 絞り込みパラメータの設定

データ「ds1」を選択して編集ボタンをクリックし、データベースクエリーを開きます。

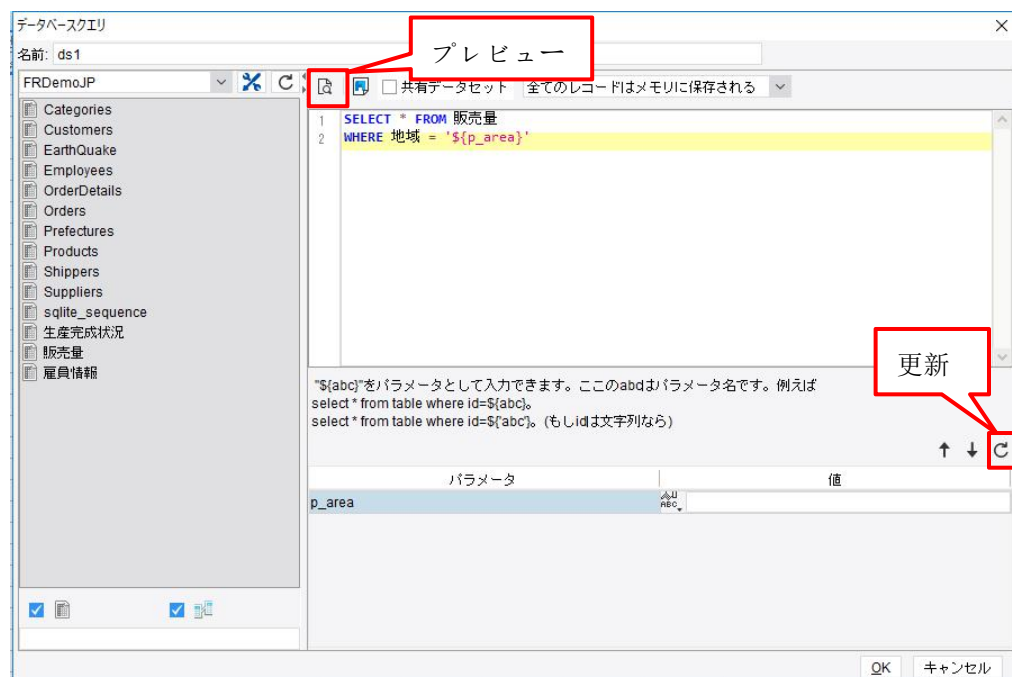


下図、赤枠内に以下の文を追加します。

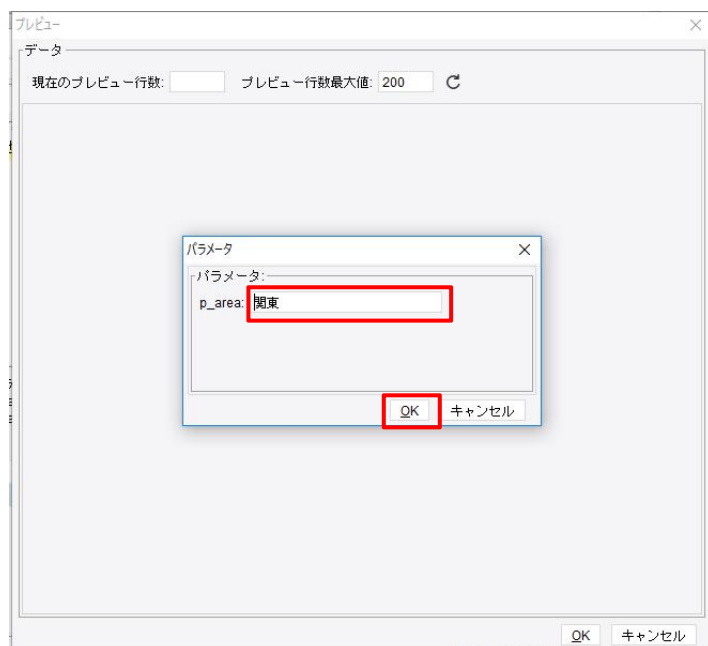
WHERE 地域 = '\${p_area}'



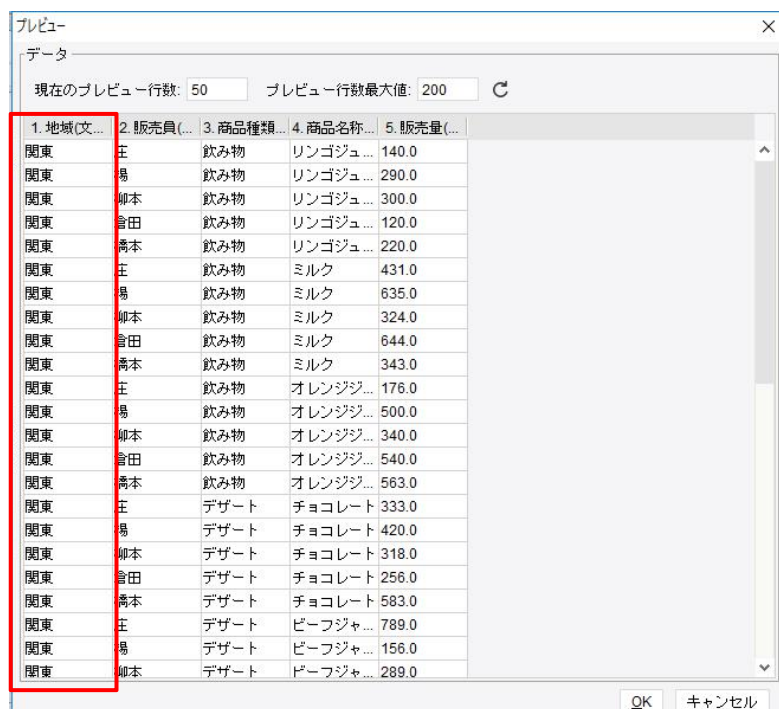
追加した文の、`\${p_area}`はパラメータで p_area がパラメータ名です。
パラメータ p_area とデータの項目「地域」が一致するデータを抽出条件として追加しています。
パラメータが正常に設定されているかデータのプレビューを行い確認します
更新をクリック後、プレビューボタンをクリックしてください。



下図のように、プレビュー画面にパラメータ入力ウィンドウが表示されるので、絞り込み条件として「関東」と入力し「OK」をクリックしてください。



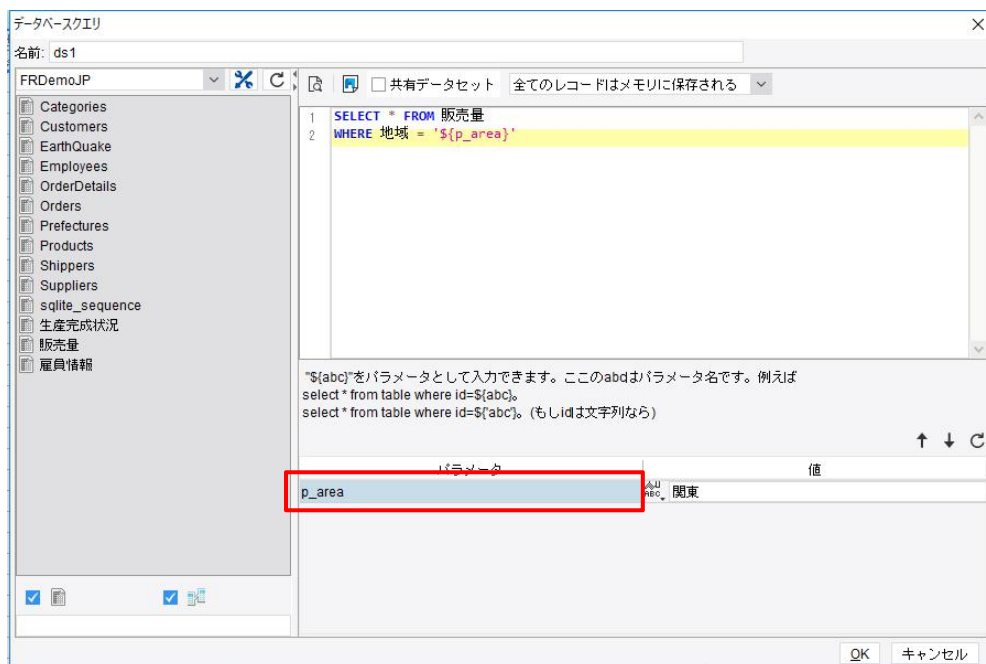
プレビュー画面で地域の項目が「関東」のデータだけ出力されていることを確認できます。



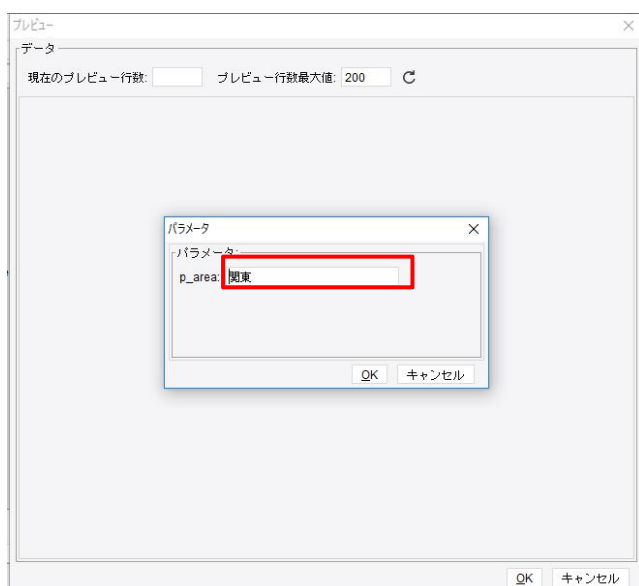
OK ボタンをクリックしプレビューを閉じてください。

b) パラメータの初期値の設定

パラメータの初期値を設定する場合、データベーススクエリーウィンドウの中央下に先ほど追加したパラメータが表示されているのでパラメータの右のテキストボックスに初期値として「関東」と入力します。初期値を設定することでパラメータ使用時、デフォルトで初期値に設定した値を使用することができます。初期値の入力を終えたら再度プレビューボタンをクリックしてください。



先ほどとは違い、プレビュー画面のパラメータ入力ウィンドウにすでに「関東」と入力されていることを確認できます。



データベーススクエリーウィンドウを「OK」をクリックし閉じてください。

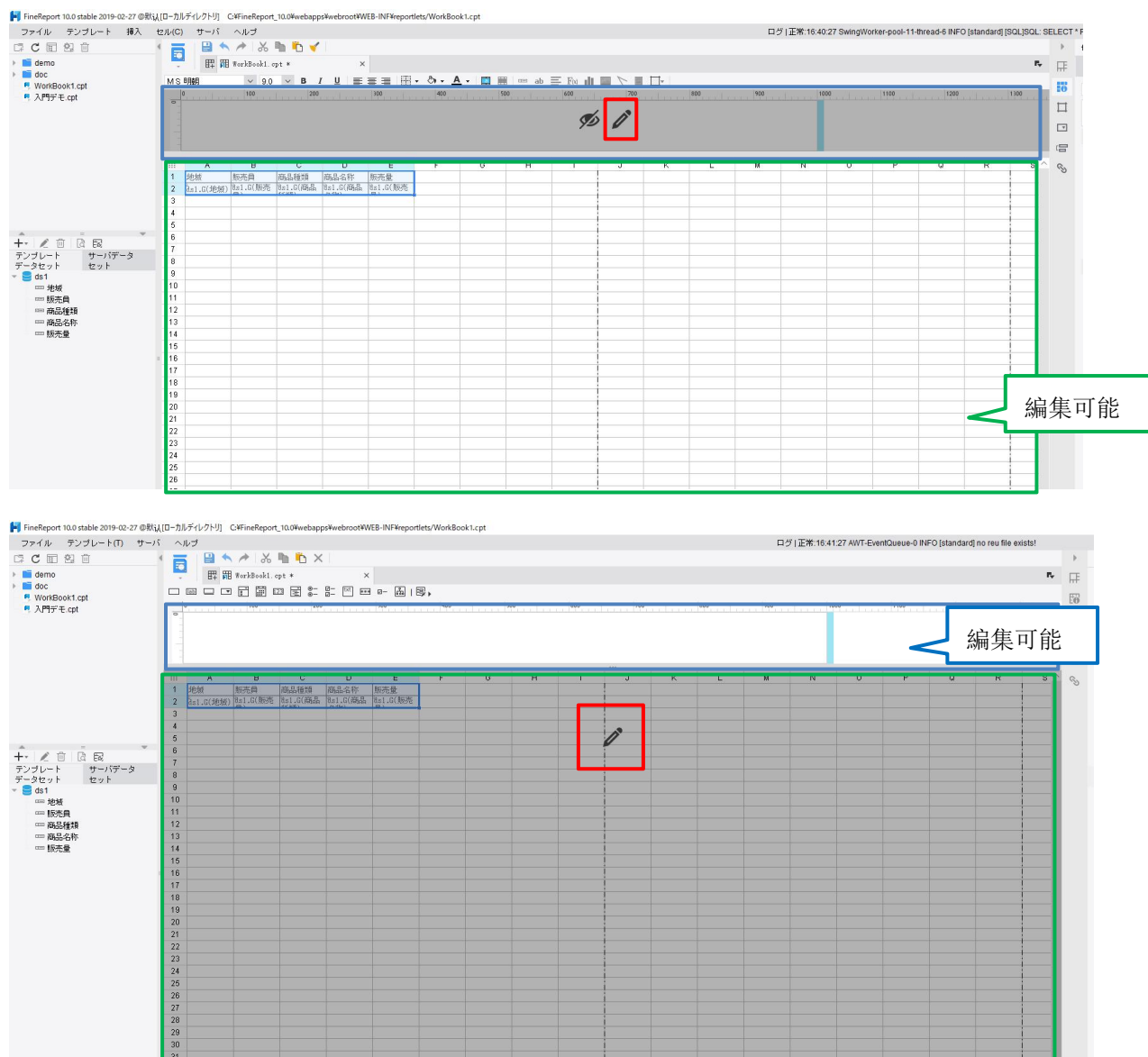
c) 絞り込み機能実装

次に、追加したパラメータを使用して帳票に絞り込み機能を追加します。

下図の赤枠内のアイコンをクリックしてください。

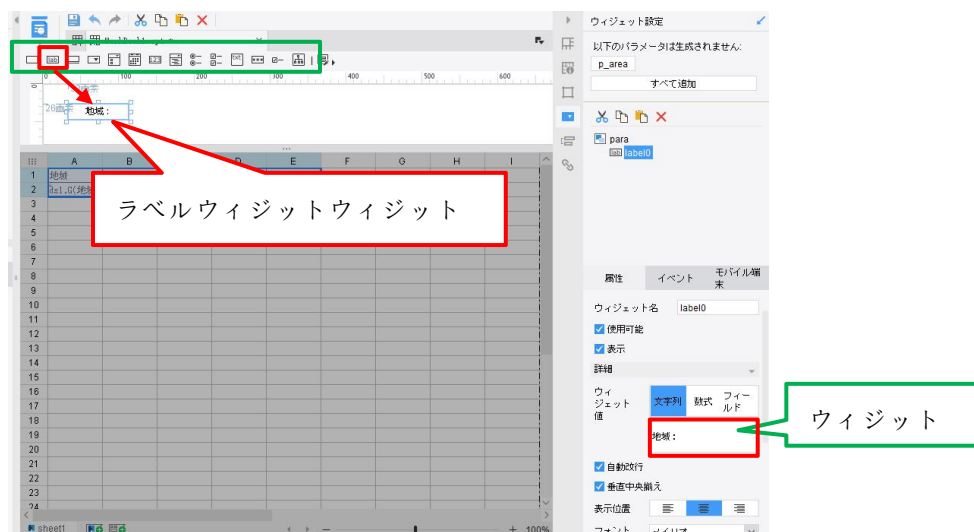
アイコンをクリックすることで帳票上部(青枠部分)の編集が可能になります。

帳票の下部(緑枠部分)の編集をしたい場合は、同アイコンをクリックしてください。



● ウィジェット挿入

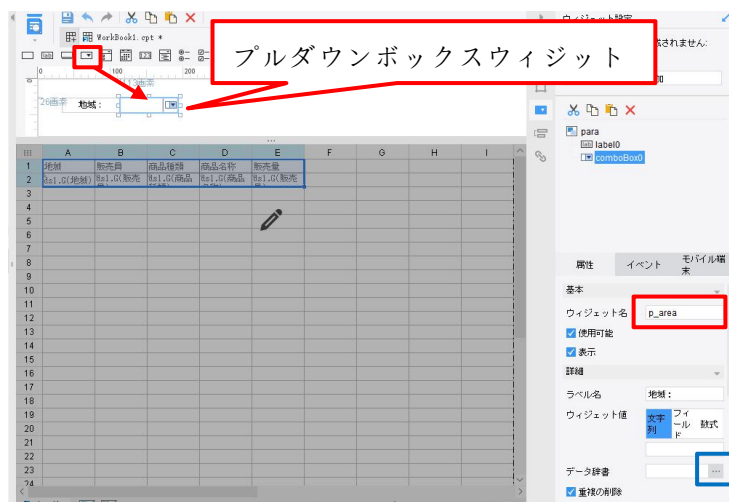
帳票の上部の編集を可能にした状態で、ウィジェットからのラベルウィジェットを帳票内にドラック&ドロップし、画面右側のウィジェット値のテキストボックスに「地域」と入力してください。



ウィジェットからのプルダウンボックスウィジェットを帳票内にドラック&ドロップし、画面右側のウィジェット名のテキストボックスに「p_area」と入力してください。

この値が先ほど設定したパラメータの値になります。

次に「データ辞書」の右側テキストボックスをクリックし、青枠部分をもう一度クリックしてください。

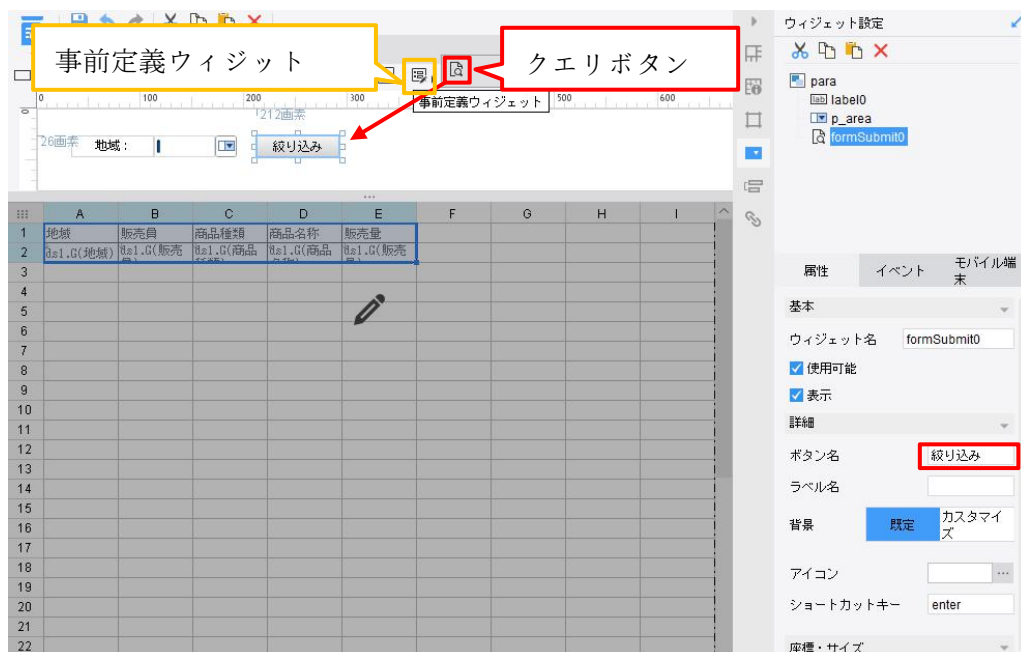


データ辞書ウィンドウが表示されるので下図と同じ値を選択してください。

データ辞書	
タイプ設定:	データベース表
データベース:	FRDemoJP
モード:	
データベース表:	販売量
実際の値:	地域
表示値:	地域

「OK」をクリックしデータ辞書ウィンドウを閉じてください。

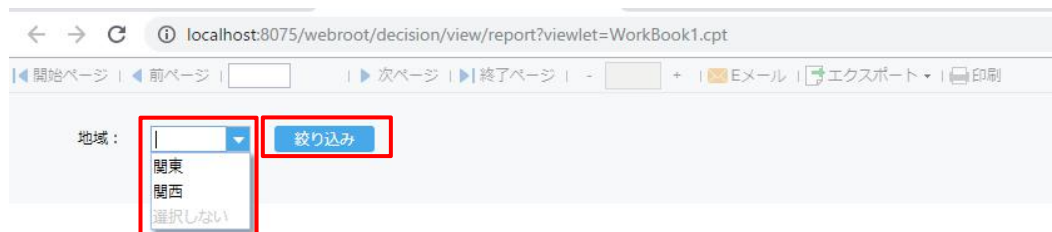
ウィジェットからのカスタムウィジェットをクリック、クエリボタンが表示されるので帳票内にドラック&ドロップし、画面右側ボタン名前のテキストボックスに「絞り込み」と入力してください。



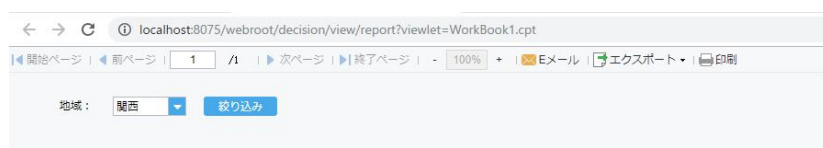
● 保存、プレビュー

保存ボタン、プレビューボタンをクリックしプレビューを確認してください。

地域右側のプルダウンボックスから「関西」を選択して「絞り込み」をクリックしてください。



地域の項目が関西のデータのみが表示されていることを確認できます。



地域	販売員	商品種類	商品名称	販売量
関西	寺橋	飲み物	リンゴジュース	250
			ミルク	284
		デザート	オレンジジュース	300
			デョコレート	352
	山崎	飲み物	リンゴジュース	180
			ミルク	688
		デザート	オレンジジュース	490
			デョコレート	384
	山田	飲み物	リンゴジュース	238
			ミルク	700
		デザート	オレンジジュース	238
			デョコレート	435
	左藤	飲み物	リンゴジュース	128
			ミルク	111
		デザート	オレンジジュース	780
			デョコレート	356

以上が絞り込み機能実装の追加方法です。

② 数式の使用方法

数式を利用したテンプレートの作成方法を説明します。

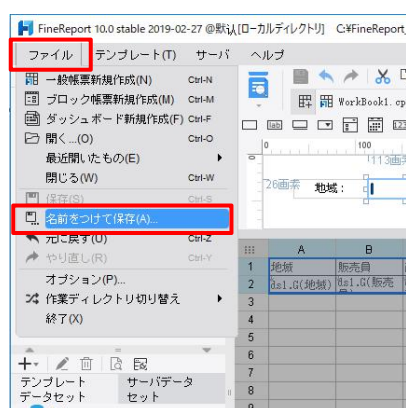
数式を利用することで、より複雑な表を作成することが可能です。

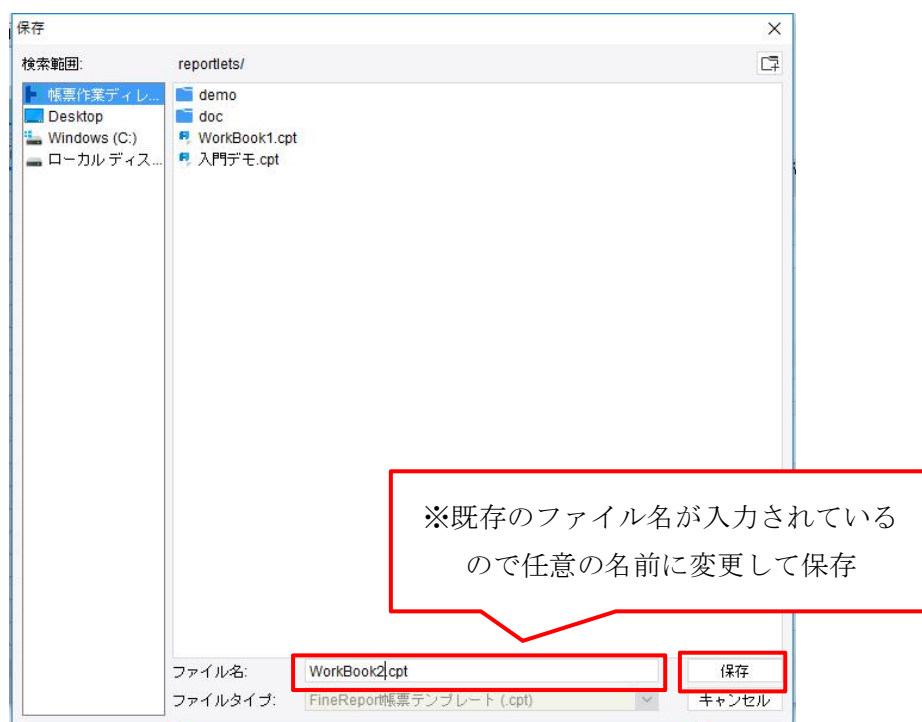
● 同テンプレートの複製

先ほど作成した帳票のテンプレートを複製して新たにファイルを作成します。

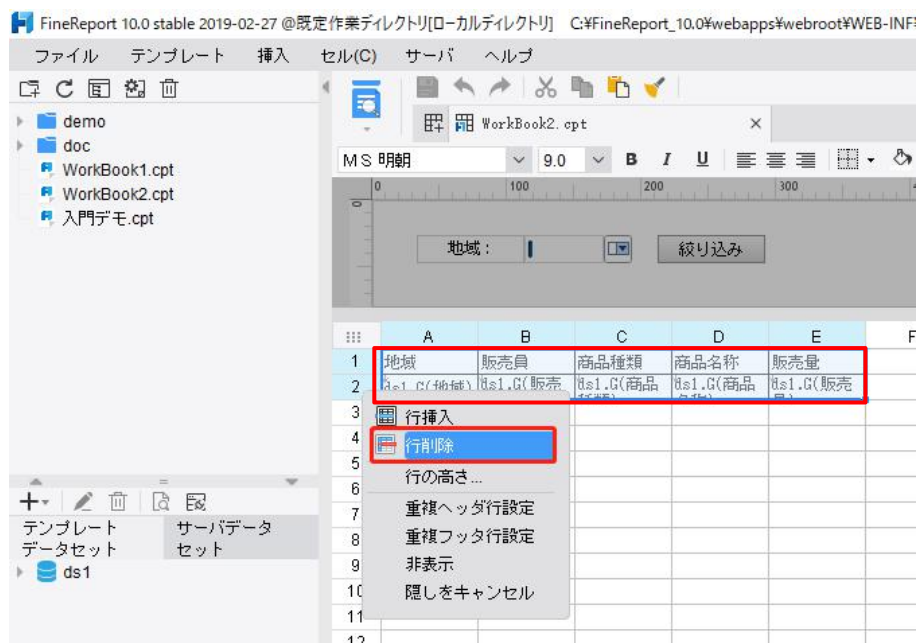
「ファイル」⇒「名前を付けて保存」をクリックし新しい名前を付けて保存してください。

このファイルに新規で数式を利用したテンプレートを作成していきます。





帳票の A1～E2 を選択し「右クリック」⇒「削除」⇒「行」をクリックして作制した帳票を削除します。

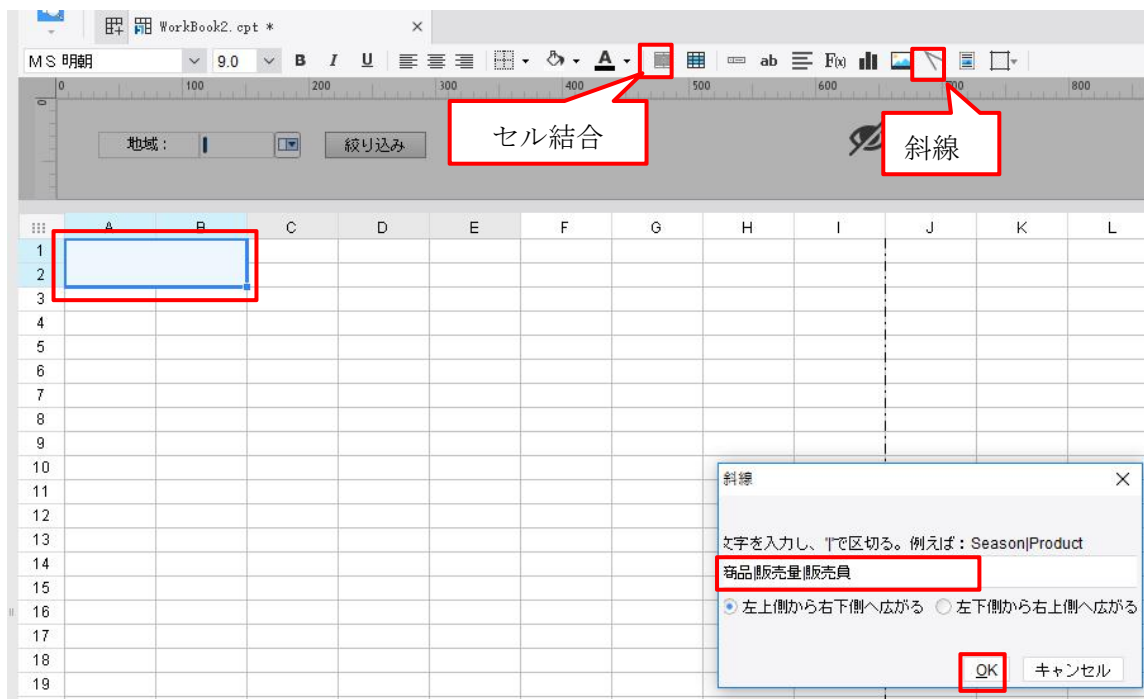


- 少し複雑な帳票作成

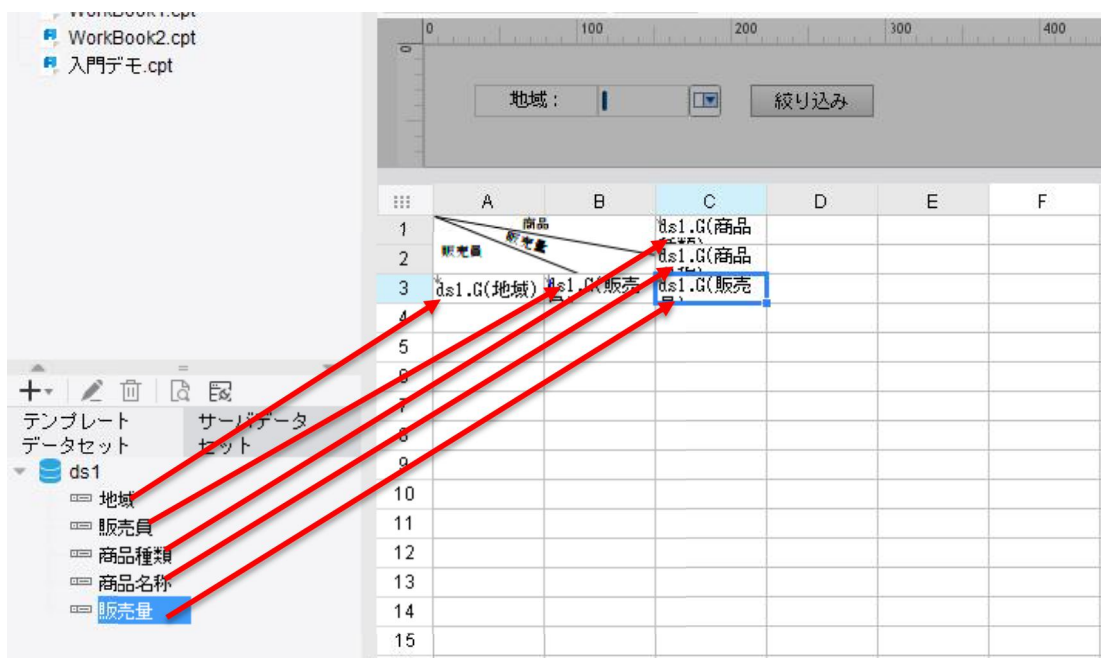
帳票の A1～B2 を選択し「セル結合」をクリックしてください。

次に「斜線」をクリックし、「商品|販売量|販売員」と入力して「OK」をクリックしてください。結合したセルを元

に戻すには結合したセルをクリックし「セル結合」と同じボタン(セルが結合されている場合「セル結合の解除」というボタンになります)をクリックしてください。

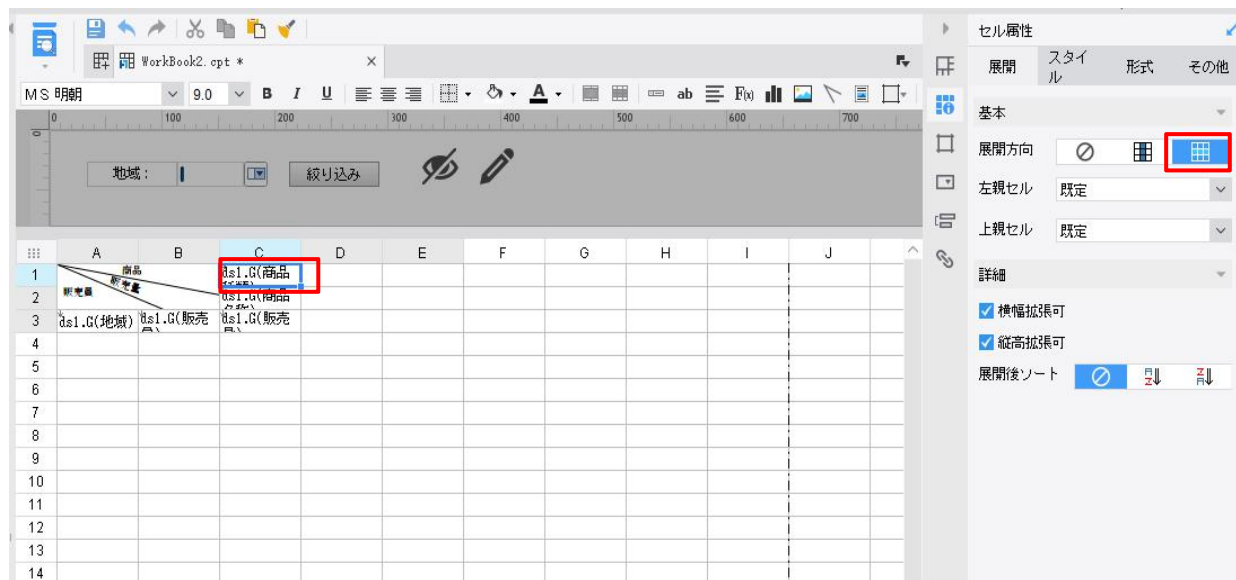


下図のように各データ列をセルにドラック&ドロップしてください。



ドラック&ドロップしたデータの設定を行います。
「地域」と「販売員」は設定の必要はありません。

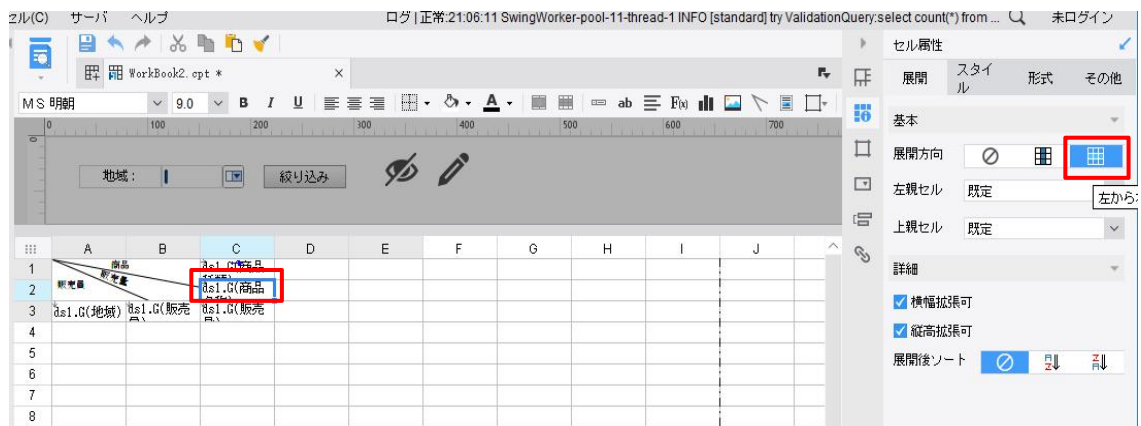
「商品種類」のセルをクリックし画面右下「セルの属性表-展開属性」の展開方向を確認してください。展開方向が「縦方向」となっているので「横方向」に変更します。



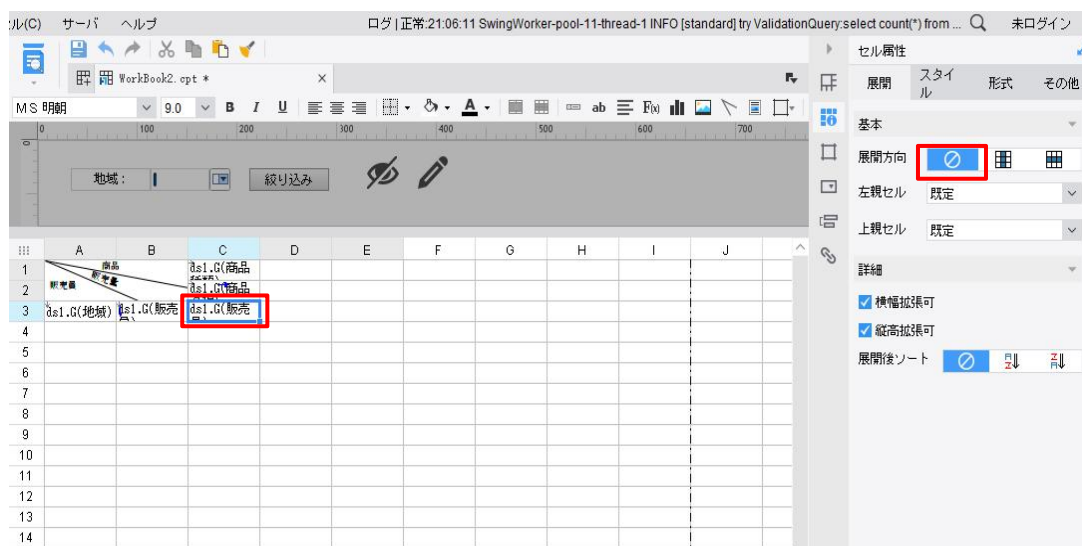
変更したセルの左上を確認し、「→」が表示されていることを確認してください。この矢印が展開方向になります。



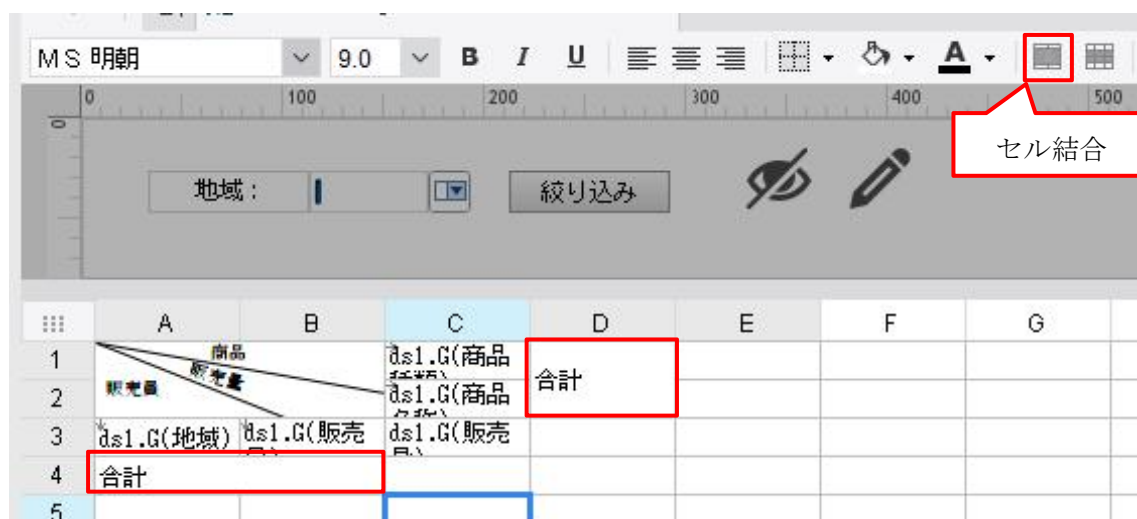
同様に「商品名称」のセルをクリックし、展開方向を「横方向」に変更してください。



「販売量」のセルをクリックし、展開方向を「展開しない」に変更してください。



D1とD2、A4とB4のセルを結合し、合計と入力してください。

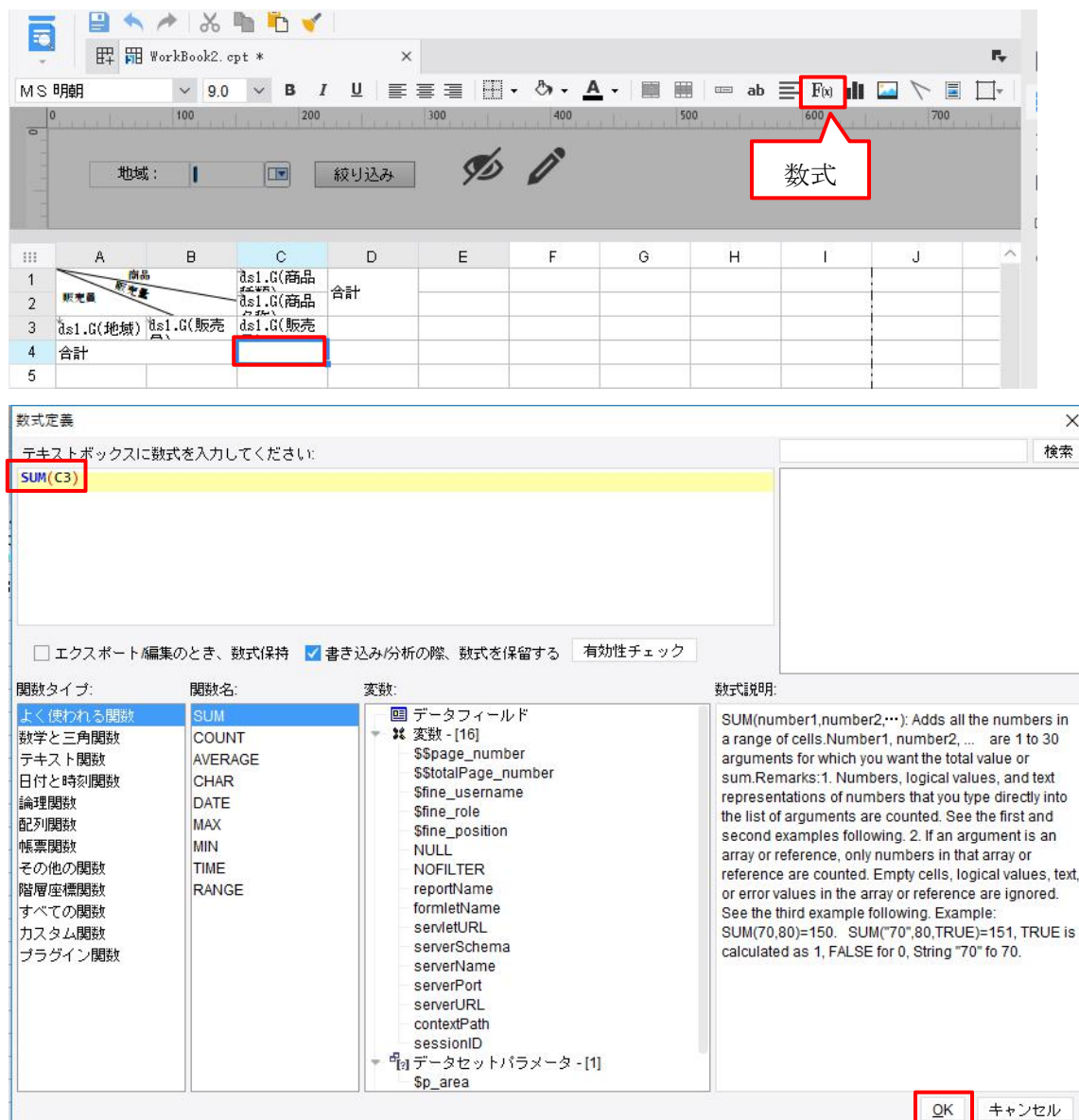


- セルに数式を設定

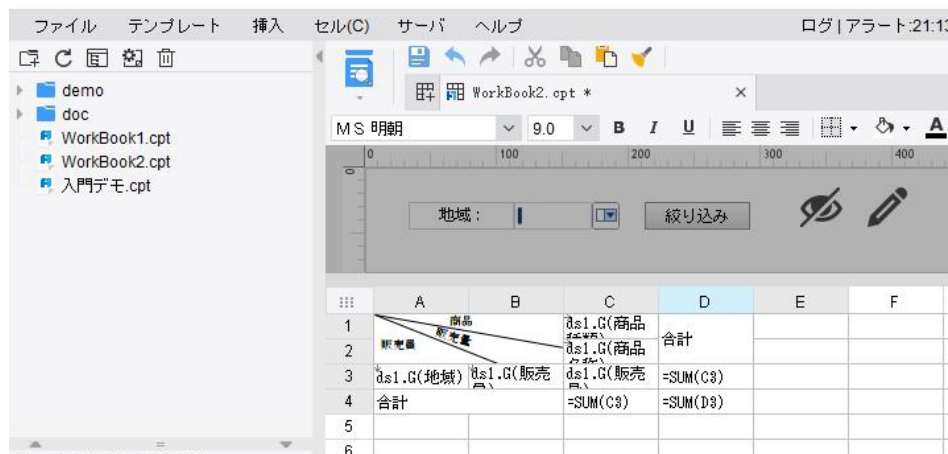
セル C4 を選択し、数式をクリックしてください。

数式定義ウィンドウが表示されるので、「SUM(C3)」と入力し、「OK」をクリックしてください。

数式「SUM()」を使用することで()内に指定したセルの合計値を取得できます。

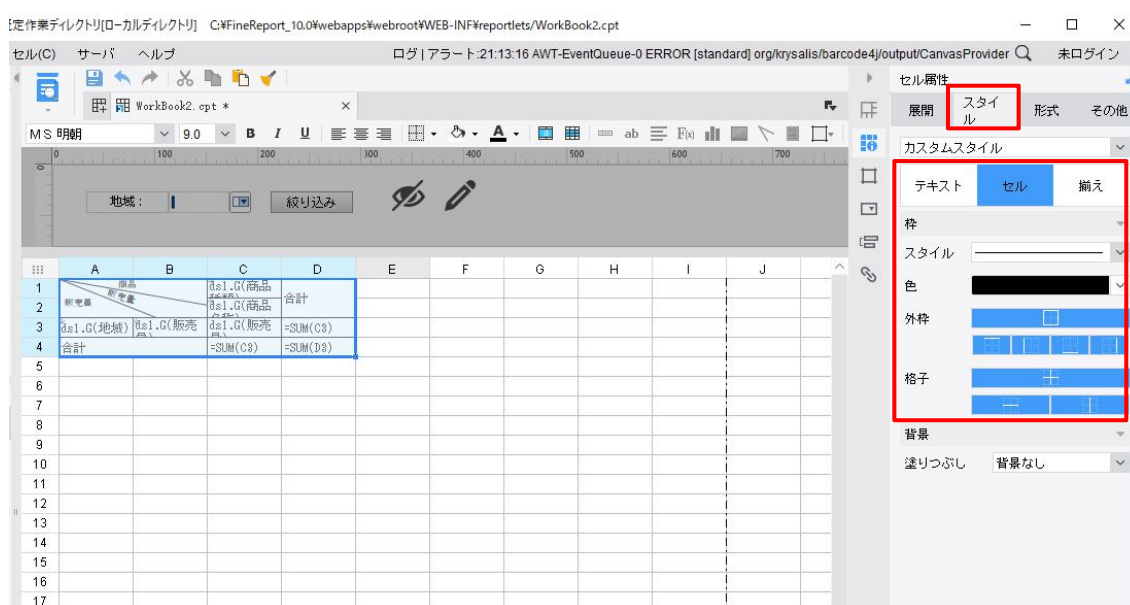


同様の方法で D3 セルに「SUM(C3)」、D4 セルに「SUM(D3)」と入力してください。



● 書式設定

A1～D4 までを選択し、セルの属性表-スタイルから枠線を選択しスタイルを設定します。



● 保存、プレビュー

保存ボタン、プレビューボタンをクリックしプレビューを確認してください。

項目が設定した展開方向に展開されていることを確認できます。

また販売員、商品種類ごとの販売量の合計が表示されていることを確認できます。

開始ページ | 前ページ | 1 / 1 | 次ページ | 終了ページ | 100% + | Eメール | エクスポート | 印刷

地域: 関東 絞り込み

販売量	商品	飲み物			デザート		合計
		リンゴジュース	ミルク	オレンジジュース	チョココレート	ピープジャッキー	
関東	庄	140	491	178	333	789	1889
	楊	290	635	500	420	156	2001
	柳本	300	324	340	318	289	1571
	倉田	120	644	540	256	562	2122
	橋本	220	343	563	588	546	2255
合計		1070	2377	2119	1910	2342	9818

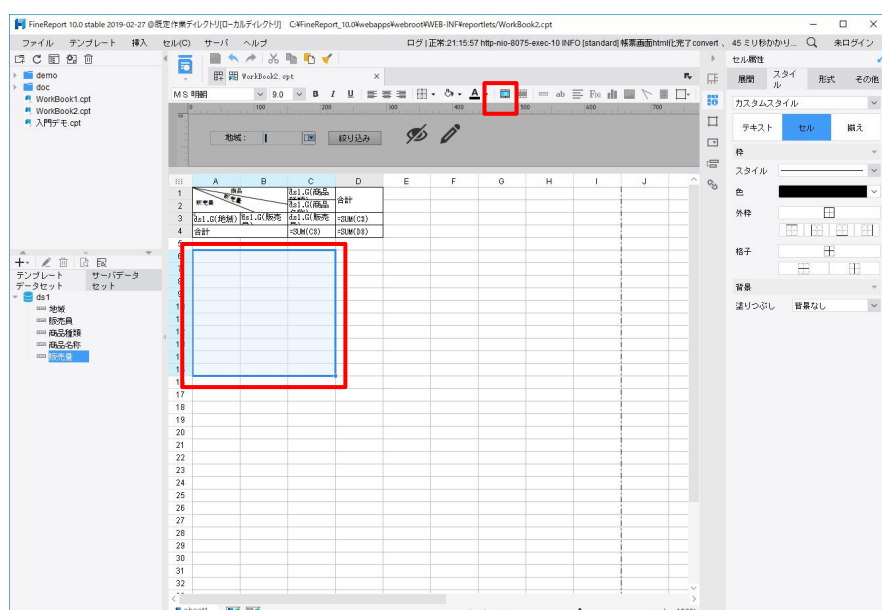
以上が数式の使用方法になります。

③ グラフの挿入

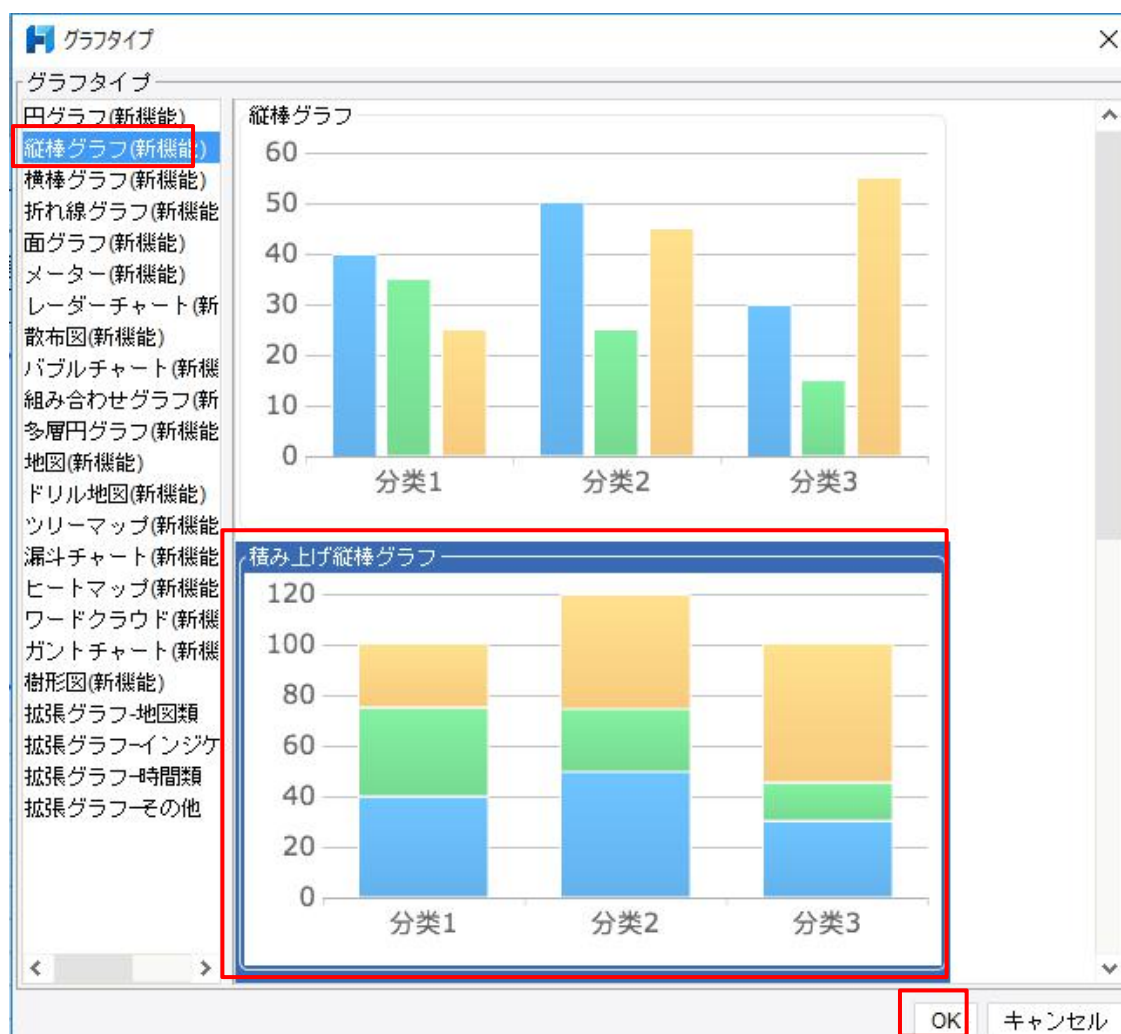
グラフの挿入方法を説明します。

● グラフ挿入

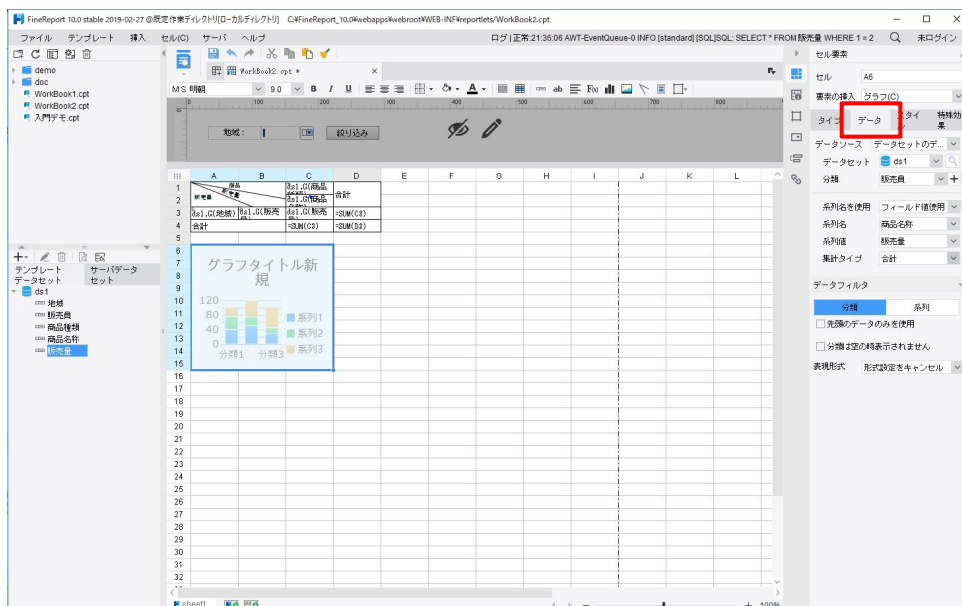
A6～C15 まで選択し、セル結合をクリック。



結合したセルを選択し、グラフをクリック、グラフタイプウィンドウが表示されるので、右側のグラフタイプから、「縦棒グラフ(新特性)」をクリック、画面中央に縦棒グラフが複数表示されるので「積み上げ縦棒グラフ」を選択し「OK」をクリックしてください。



画面右上のグラフ属性表-データをクリックしてください。



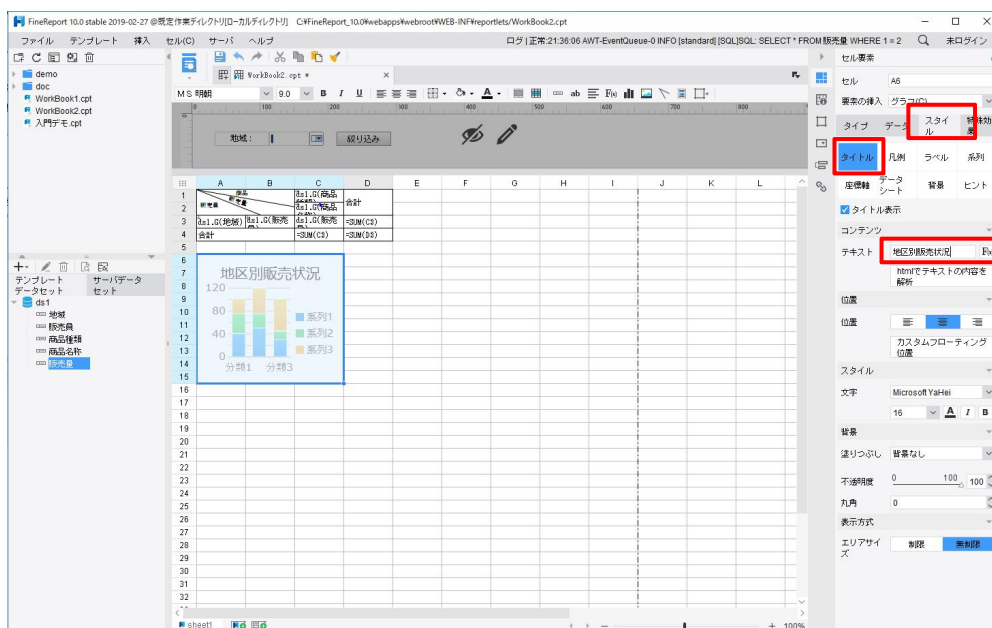
下図と同じように設定してください。

The close-up shows the 'Data' property table with the following settings:

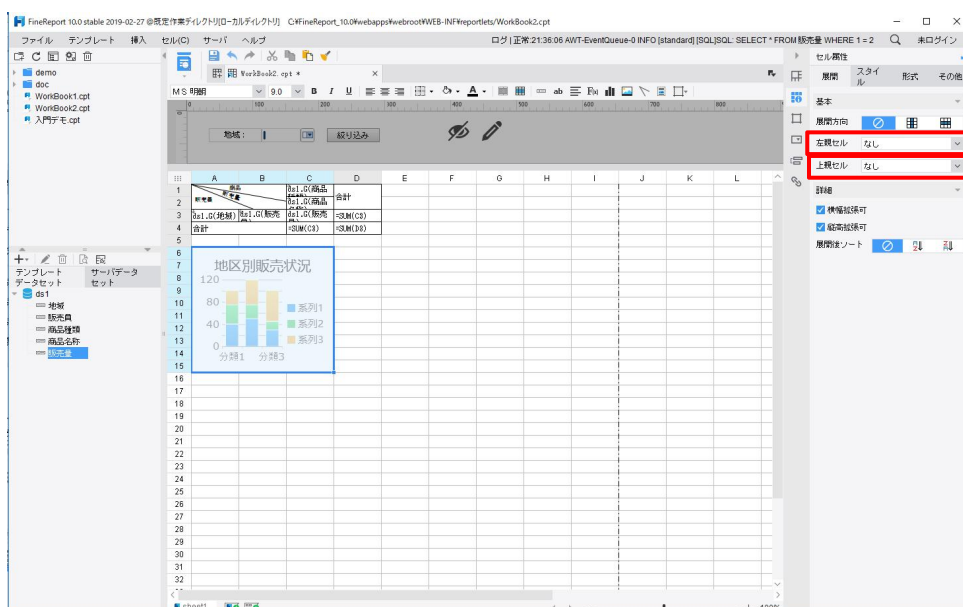
タイプ	データ	スタイル	特殊効果
データソース	データセットのデ...		
データセット	ds1		
分類	販売員		
系列名を使用	フィールド値使用		
系列名	商品名称		
系列値	販売量		
集計タイプ	合計		

画面右上のグラフ属性表-スタイルをクリックしてください。

次に、タイトルをクリックし内容の右下のテキストボックスに「地域別販売状況」と入力してください。これがグラフのタイトルになります。



画面右下の「セル属性表-展開属性」の「左親セル」、「上親セル」を「既定」から「なし」に変更します。



● 保存、プレビュー

保存ボタン、プレビューボタンをクリックしプレビューを確認してください。
グラフが挿入されていることが確認できます。

開始ページ | 前ページ | 1 | 次ページ | 終了ページ | 100% | Eメール | エクスポート | 印刷

地域: 関東 絞り込み

商品 販売量		飲み物			デザート		合計
		リンゴジュース	ミルク	オレンジジュース	チョコレート	ピーフジャッキー	
関東	庄	140	481	178	333	789	1869
	楊	290	835	500	420	158	2001
	柳本	300	324	340	318	289	1571
	倉田	120	644	540	258	562	2122
	橋本	220	343	583	583	548	2255
合計		1070	2377	2118	1910	2342	9818



以上がグラフの挿入方法になります。

4.詳細資料

さらに詳しいトレーニング資料の閲覧方法を説明します。

下記 URL にアクセスしてください。

<http://47.74.34.81/display/JHD/Japanese+Help+Document+Home>

以下に FineReport 関連ページを記載します。

ホームページ: www.finereport.jp

オンラインデモ: <http://47.74.2.175/webroot/decision>

無償ダウンロード: <http://www.finereport.com/jp/products/trial/>

オンラインヘルプ: <http://47.74.34.81/display/JHD/Japanese+Help+Document+Home>

第二章 サーバ構築

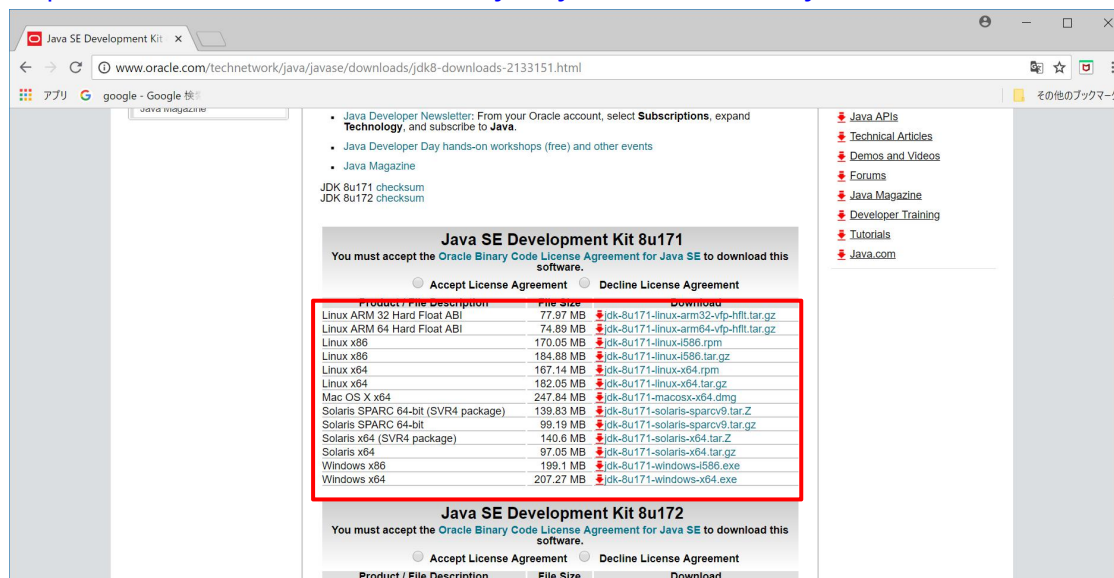
1.Web サーバ構築 (Tomcat サーバ構築例)

1)JDK8.0 ダウンロード

JDK8.0 を下記 URL からダウンロードしてください。

※このバージョン以上のものを使用しないでください。

<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/jdk8-downloads-2133151.html>



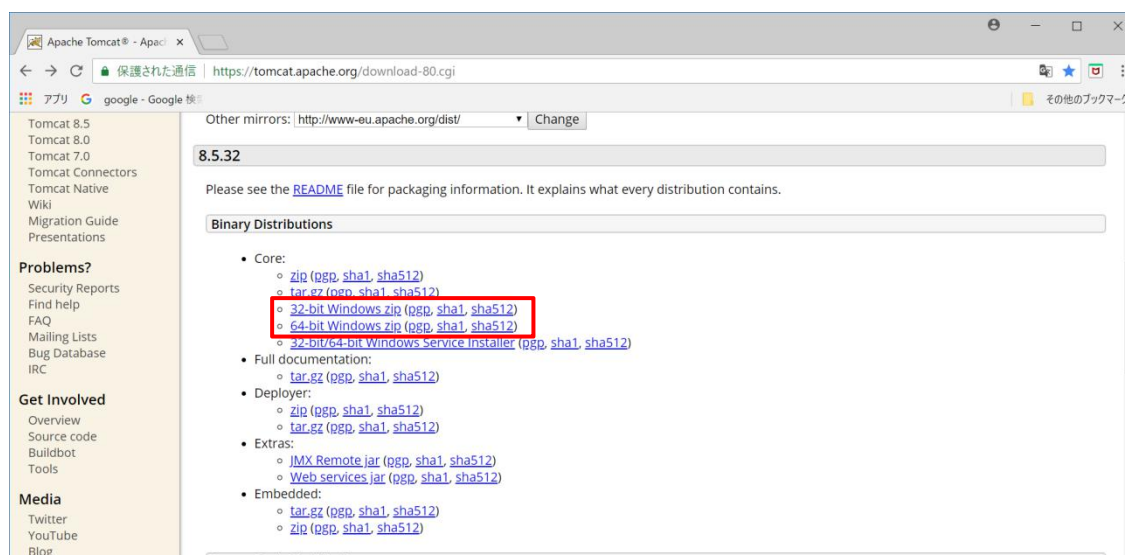
環境変数を設定します。設定方法は以下 URL を参照してください。

<http://www.javadrive.jp/install/jdk/index4.html>

2)Tomcat (WebServer)ダウンロードとインストール

Tomcat を下記 URL からダウンロードしてください。

<https://tomcat.apache.org/download-80.cgi>

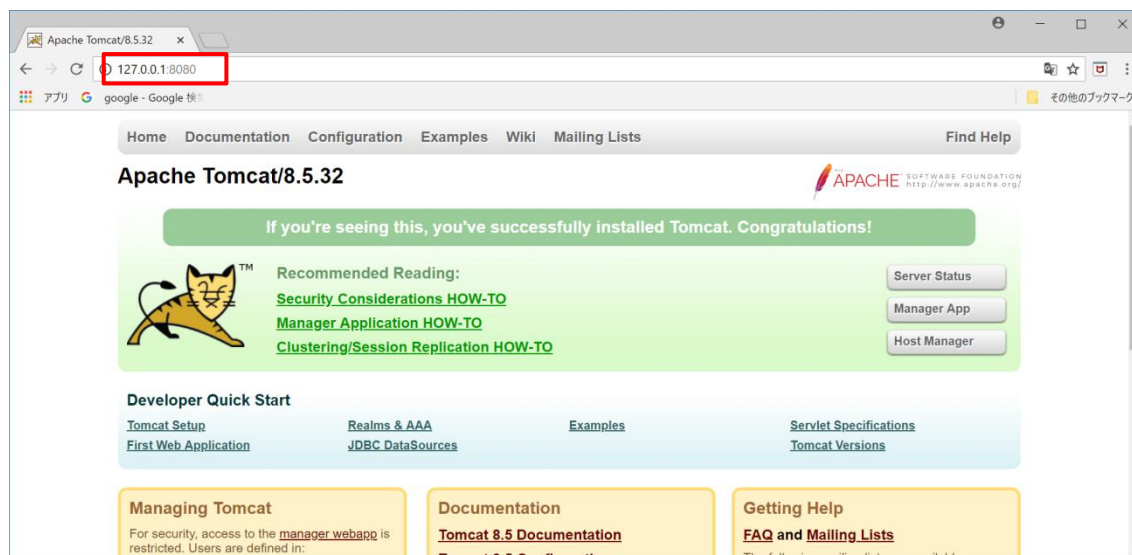


ダウンロードしたzipファイルを任意のフォルダに展開してください。

説明上、展開したtomcatのフォルダのパスは%Tomcat_HOME%と表記します。

%Tomcat_HOME%\bin のフォルダ内の startup.bat をクリックし、Tomcat を起動します。

Web ブラウザで「http://127.0.0.1:8080」にアクセスし以下のようなページが表示されることを確認してください。



2.FineReport サーバ配置

(1)FineReport の独立配置と既存のシステムへの配置の違い

サーバに FineReport アプリケーションを配置する場合以下の2通りの方法があります。

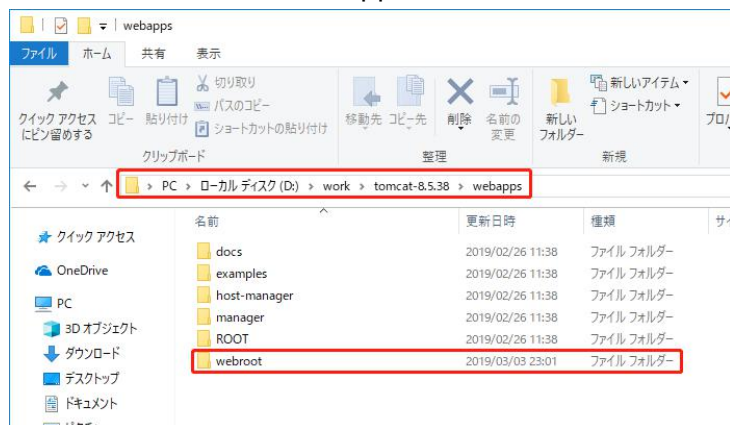
1つは FineReport のみでサーバーに配置する方法です。FineReport 独自の FineReport ポータルでの管理が可能です。

もう 1 つは既存のシステムに配置することで、既存のシステム内で FineReport で作成したテンプレートの使用が可能です。

(2) 単独で配置する場合の配置方法

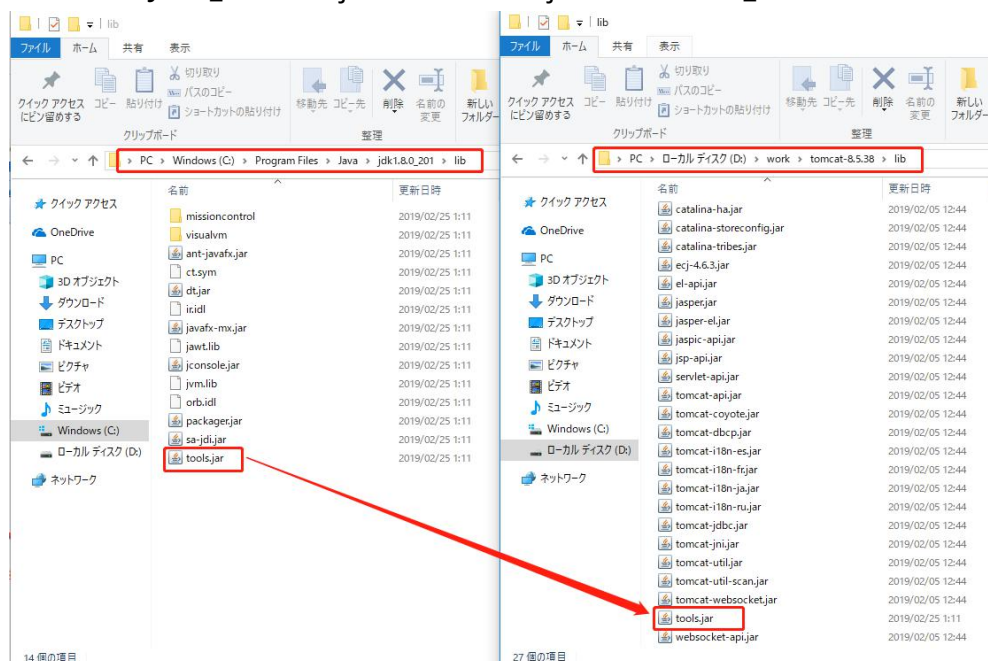
FineReportアプリケーションを単独でを使用した場合のTomcatの配置方法は以下になります。

FineReport_10.0のインストールフォルダ内のwebapps¥webrootフォルダを%Tomcat_HOME%¥webapps¥にコピーしてください。



次にはtools.jarのコピー操作

フォルダ%JAVA_HOME%/jdk/lib中のtools.jarを%TOMCAT_HOME%/libにコピーする



● 単独で配置する場合の配置の成否の確認

以下に「第一章 入門ユーザガイド」⇒「3. FineReport デザイン使用方法」で作成したテンプレートをTomcatに配置し確認する方法を記載します。

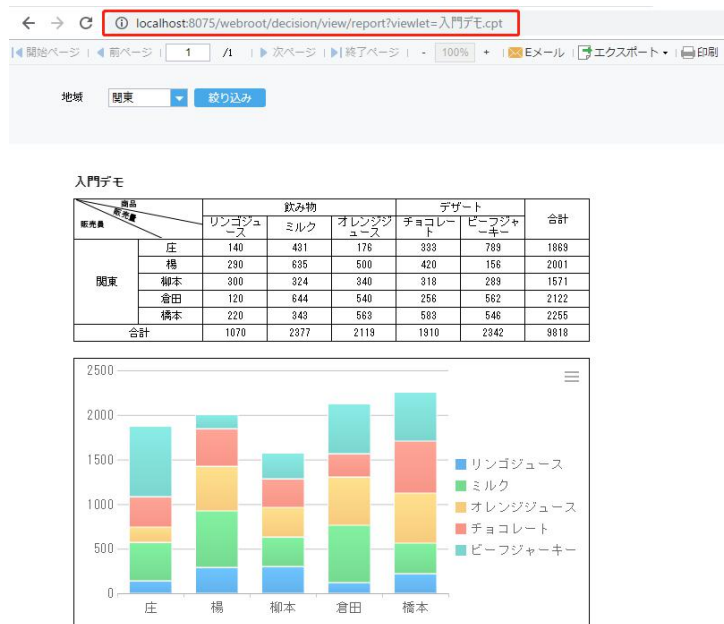
「(2) 単独で配置する場合の配置方法」を参照し、FineReport_10.0のフォルダ内のwebapps¥webrootフォルダを%Tomcat_HOME%¥webapps¥にコピーしてください。

Tomcatを再起動し、以下URLをブラウザで入力してください。

<http://127.0.0.1:8080/webroot/decision/view/report?viewlet=作成したテンプレート名>

下線部分は作成したテンプレート名を入力してください。

作成した帳票がブラウザに出力されていることが確認できます。

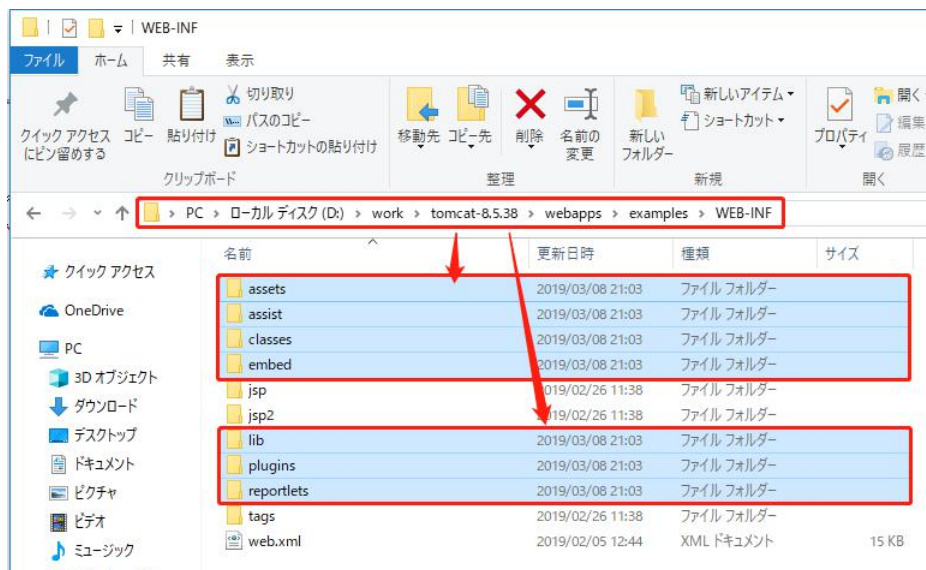


(3) 既存のシステムへ配置する場合の配置方法

ここでは%Tomcat_HOME%\webapps\ディレクトリにあるTomcat内蔵のexamplesプロジェクトを使用した例を紹介します。

%FineReport_HOME%\webapps\webroot\WEB-INFディレクトリにあるassets、assist、classes、embed、lib、plugins、reportlets 7 件のディレクトリを %Tomcat_HOME%\webapps\examples\WEB-INFにコピーします。

※%FineReport_HOME%\WebReport\WEB-INF\classesフォルダ下層にはネットワークレポートのclassファイルが置かれることがありますが、プロジェクト統合時に衝突することはありません。



※単独で配置することと同じ、tools.jarのコピーは必須です。

- 既存のシステムへ配置する場合の配置の成否の確認

配置が成功したか確認する方法を説明します。

Tomcatを再起動し、ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに**http://ip:サーバポート番号/プロジェクトのあるディレクトリ/decision**を入力します。配置成功のページが現れたら、**FineReportアプリケーションをTomcatサーバに配置できたことが確認できます。**

※ブラウザにURLを入力するときは、大文字?小文字や、プロジェクトの名称と自身のフォルダの名称を一致させるよう注意してください。

3.FineReport ポータル紹介

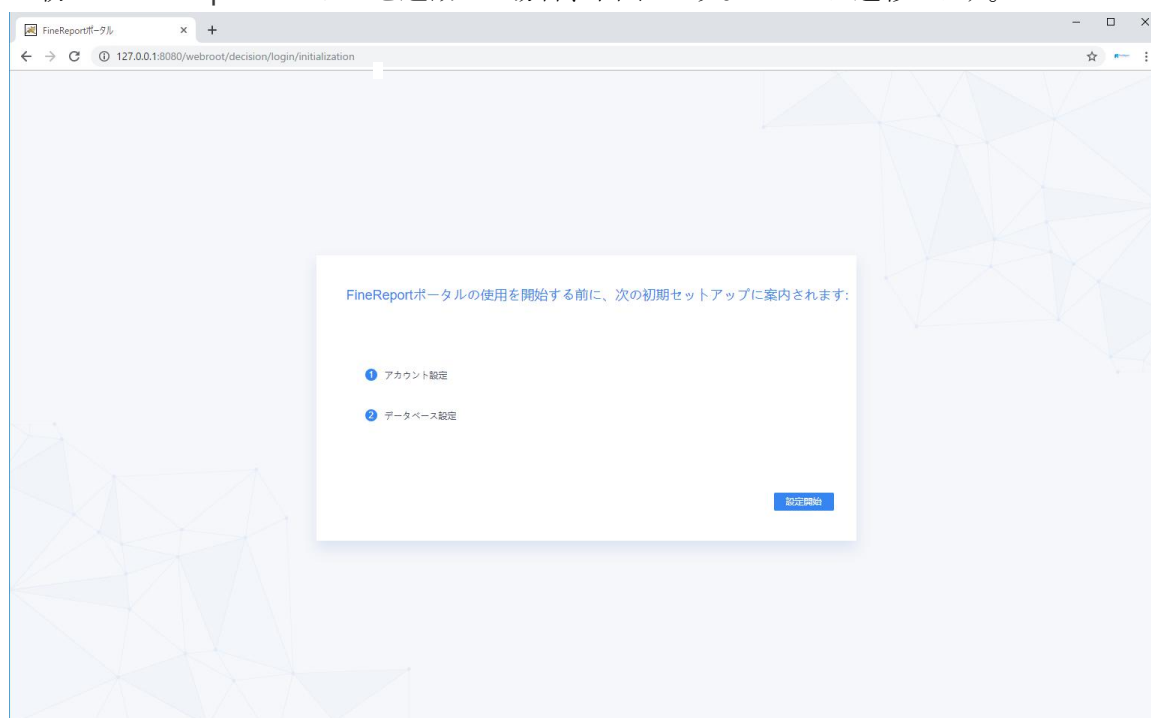
FineReportポータルは、FineReportのみで動作可能なポータルサイトで、レポート管理やユーザ管理などを行うことができます。

FineReportポータルを起動する方法を説明します。

下記URLを入力してください。

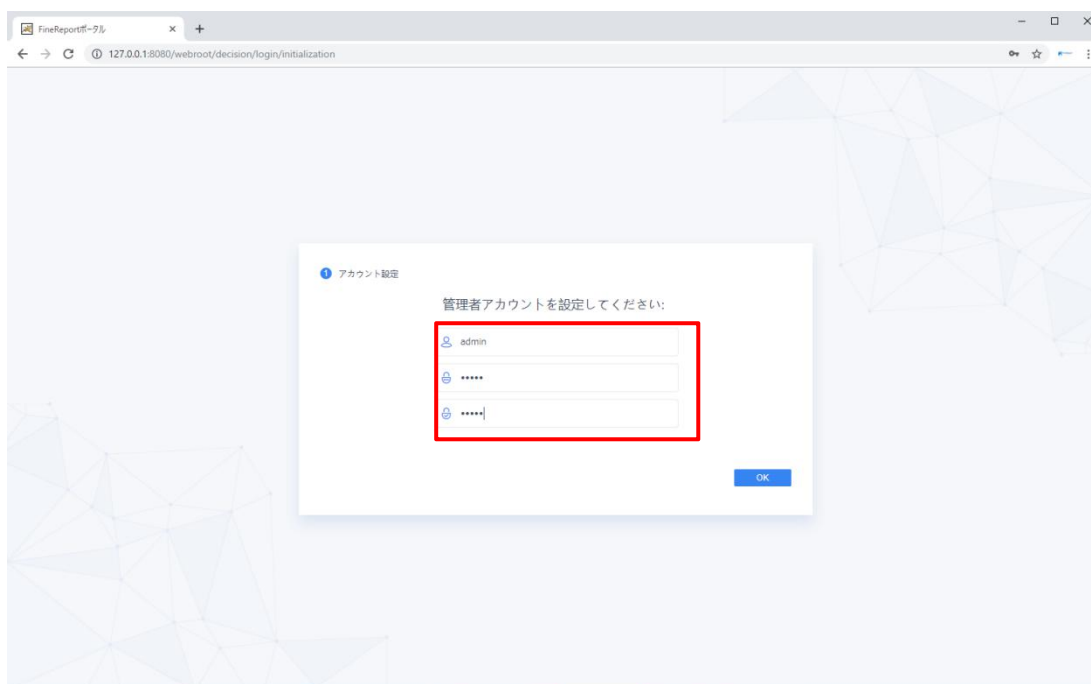
http://127.0.0.1:8080/webroot/decision

初めてFineReportポータルを起動した場合、下図のようなページに遷移します。



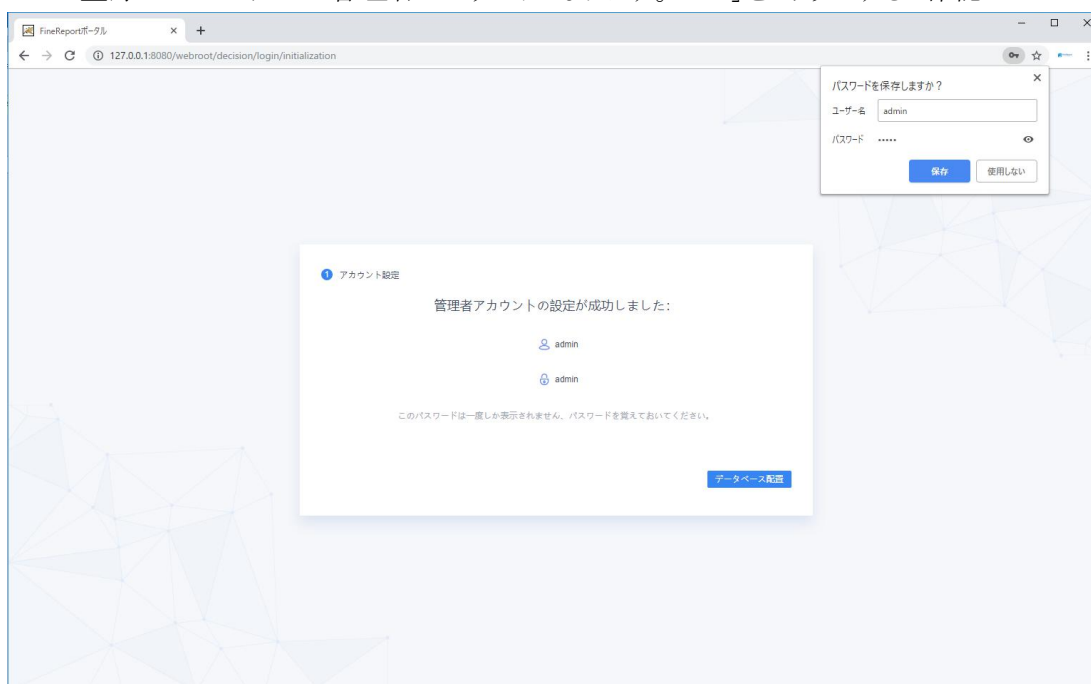
「設定開始」ボタンをクリックしてください。

「設定開始」ボタンをクリックすると、下記のような管理者アカウント設定画面に入ります。



管理者アカウントとパスワードを設定してください。

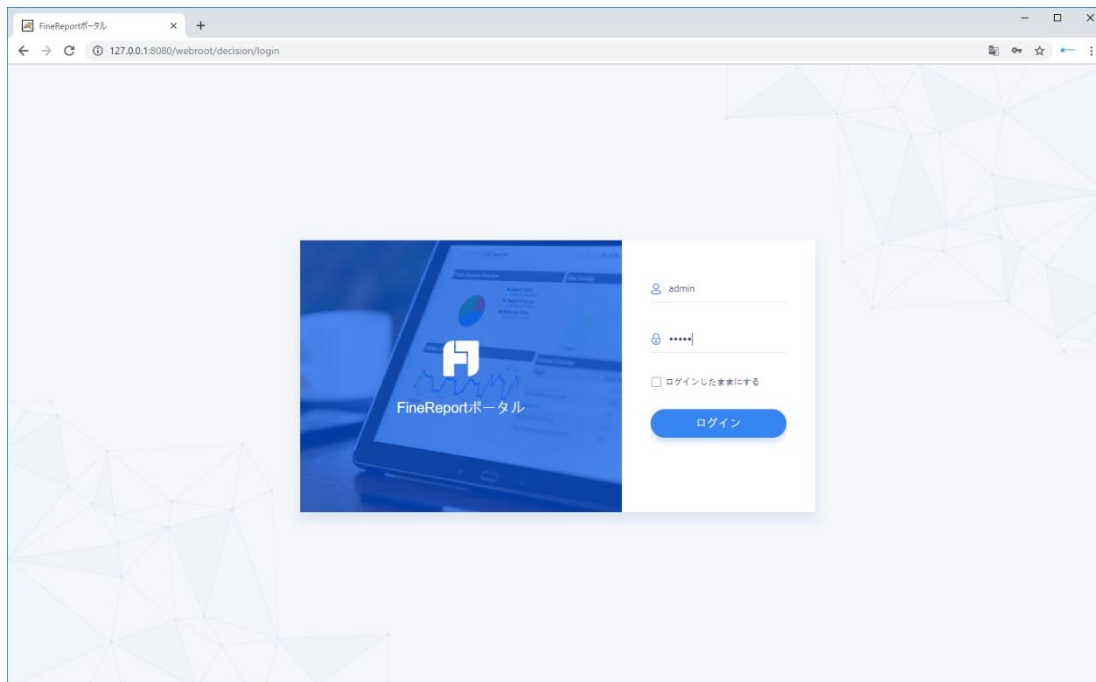
ここで登録したユーザーが管理者アカウントとなります。「OK」をクリックすると確認ページへ遷移します。



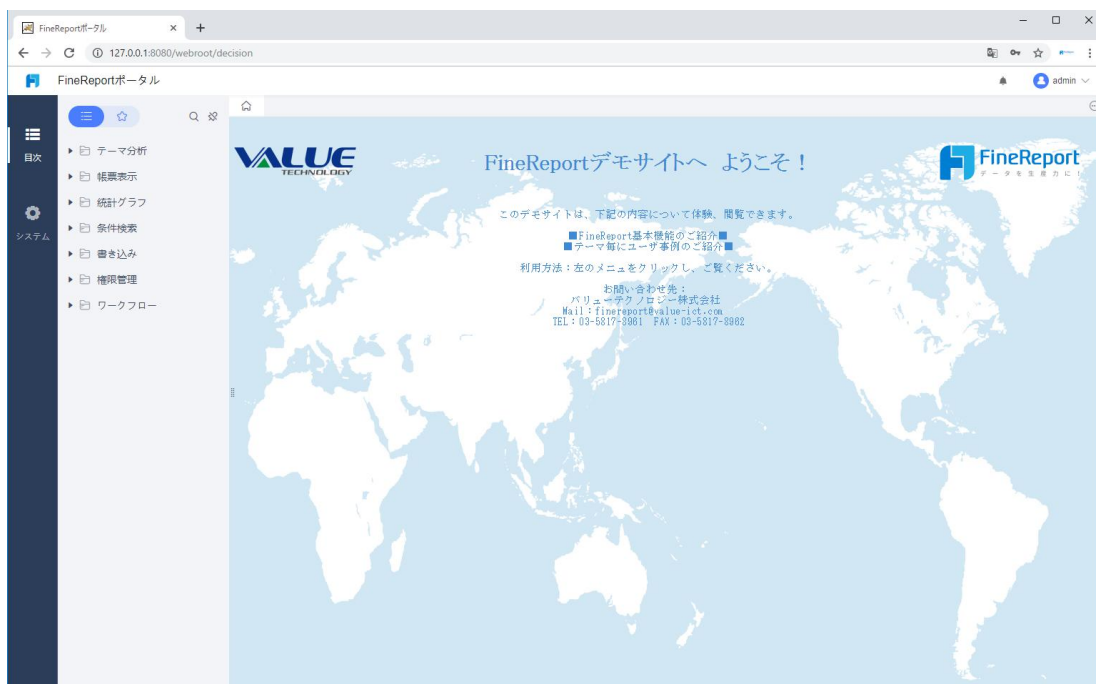
「データベース配置」ボタンをクリックすると、データベース設定画面に入ります。

※こちらのデータベースとは、FineReport システム用のデータを保存する場所です。

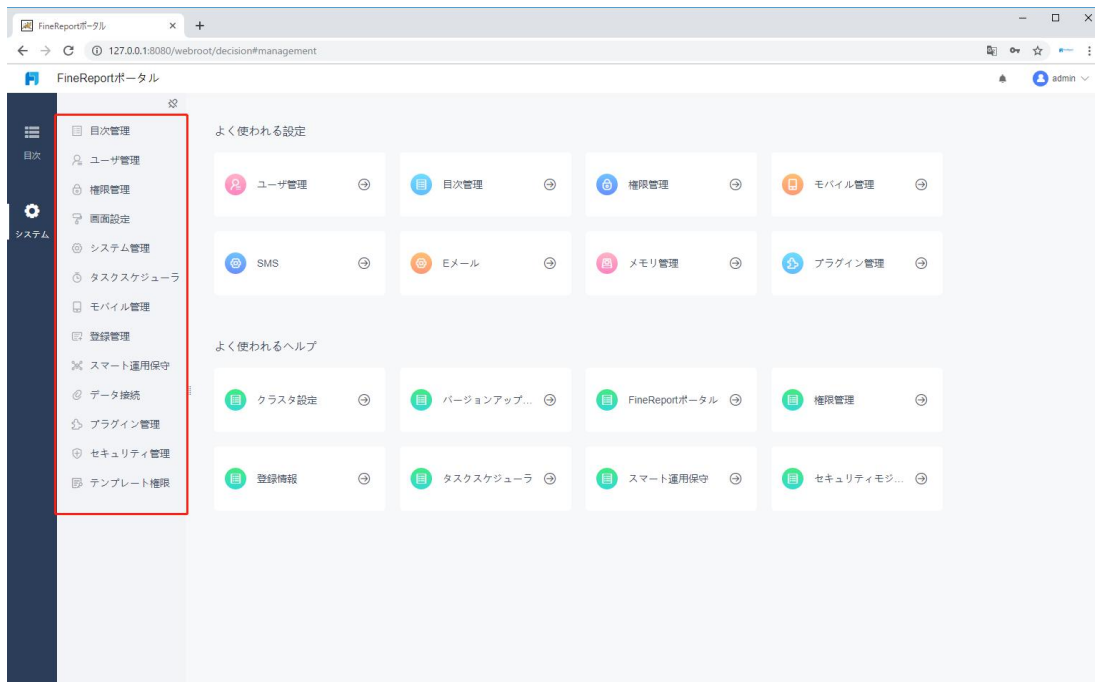
「組み込みデータベースを使用」ボタンをクリックすると、FineReport ポータルのログイン画面に入ります。



管理者アカウントでログインすると、FineReport で作成した帳票やフォーム等のポータルサイトとなっています。



システム管理から帳票やユーザー権限など、各種設定が可能です。



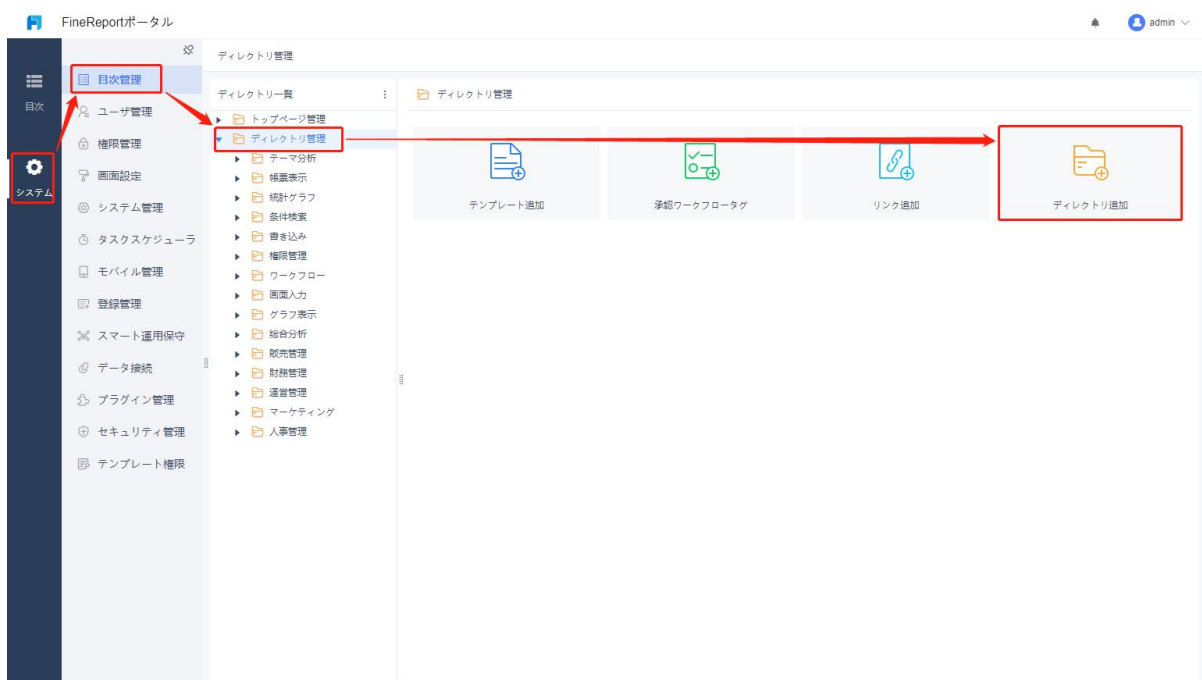
簡単な操作を紹介します。

- ディレクトリ追加

ディレクトリの追加方法を説明します。

「システム」⇒「目次管理」をクリックしてください。

「管理ディレクトリ」をクリックし選択、左側の「ディレクトリ追加」ボタンをクリックしてください。



ディレクトリ追加ウィンドウが表示されるので任意の名前を付け「OK」をクリックしてください。

ページを更新してください。

左の項目に作成したディレクトリが追加されていることが確認できます。

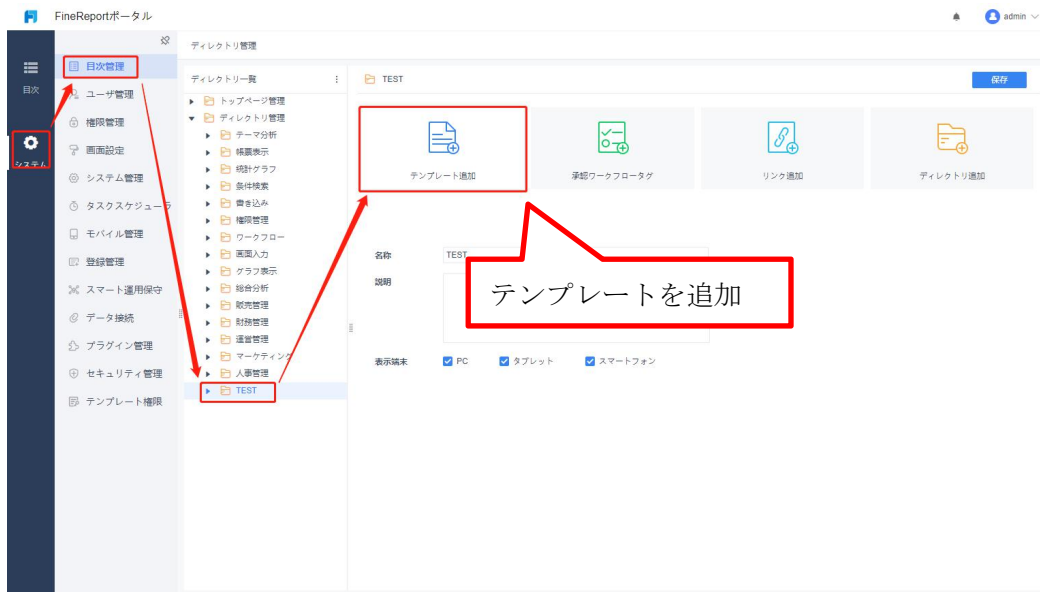


- テンプレートを追加

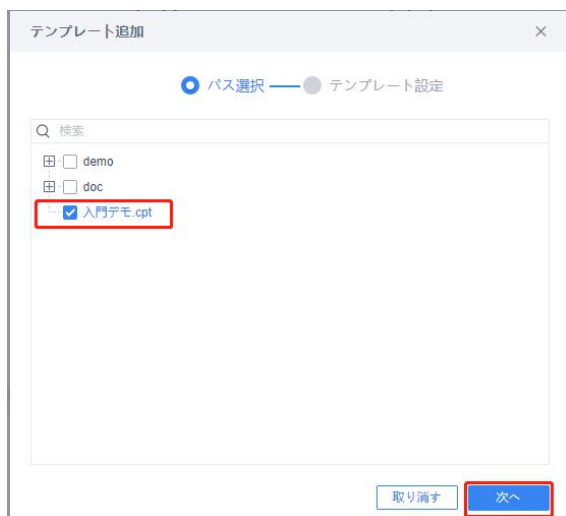
テンプレートを追加する方法を説明します。

「システム」⇒「目次管理」をクリックしてください。

ディレクトリ管理画面の「ディレクトリ管理」の一番下に先ほど作成したディレクトリがあるのでクリックし選択、「テンプレート追加」ボタンをクリックします。



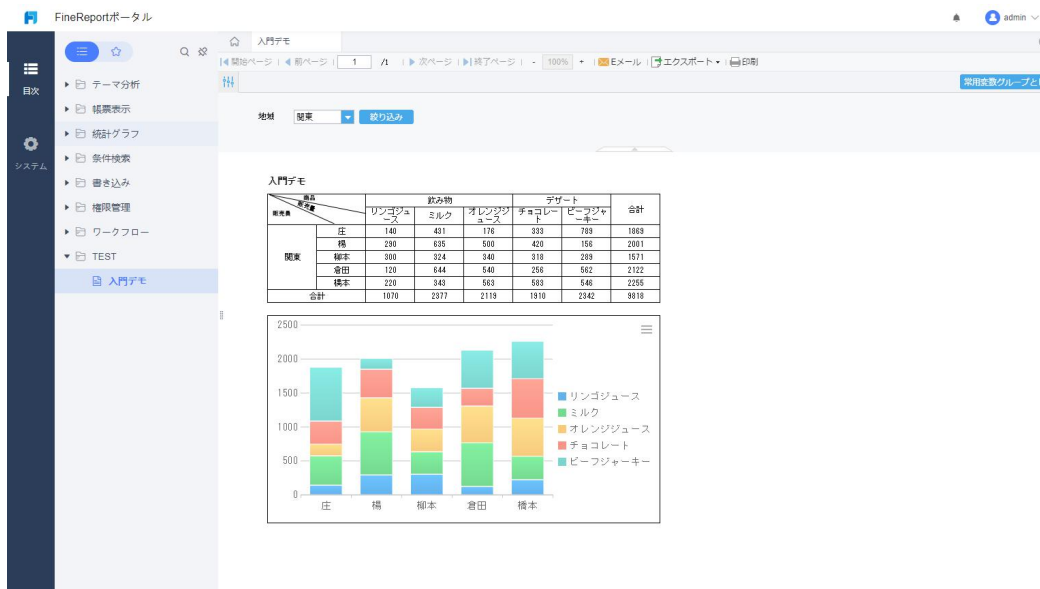
テンプレート追加ウィンドウが表示されるのでパスに帳票テンプレート「入門デモ.cpt」を指定し「次へ」をクリックをしてください。



テンプレート設定画面にテンプレート表示の属性をそれぞれ設定し、「OK」ボタンをクリックすると、テンプレートの追加を完了となります。



「目次」をクリックし追加したディレクトリをクリック、追加したテンプレート名が表示されているのでクリックしてください。



作成した帳票が表示されていることを確認してください。

詳しくは、「第一章 ユーザー入門ガイド」⇒「4. 詳細資料」を参照してください。

下図は日本語化したヘルプドキュメントの FineReport ポータル解説ページになります。

「FineReport ポータル」から各種説明を確認することができます。

Japanese Help Document Home
Created by finereport, last modified by Syoki on Feb 28, 2019

Pages

PAGE TREE

- ドキュメント-10.0
 - FineReportポータル-10.0**
 - システム管理モジュール
 - 外部DBの配置
 - 目次管理
 - ユーザ管理
 - 権限管理
 - 画面設定
 - システム管理
 - タスクスケジューラ
 - モバイル管理
 - 登録情報
 - スマート運用保守
 - データ接続（ポータル）
 - セキュリティ管理
 - テンプレート認証

ドキュメント-10.0

- FineReportポータル-10.0

ドキュメント-8.0

- クイックスタート-8.0
- グラフ入門-8.0
- パラメータ入門-8.0
- ライセンス登録-8.0
- 帳票の美化-8.0
- 帳票の設計-8.0
- 操作ガイド-8.0
- 書き込み帳票作成入門-8.0
- 設計の考え方-8.0

FineReport10.0 トレーニングビデオ (Base)

No.	タイトル	再生時間
1	FineReportインストール	0:09:29
2	データ接続	0:01:04
3	データセット	0:00:56
4	明細帳票-縦方向展開	0:01:07
5	明細帳票-横方向展開	0:01:00
6	明細帳票-両方向展開	0:01:16
7	数式設定	0:02:12
8	条件属性	0:01:56
9	グラフ設定-セルデータ	0:01:40
10	グラフ設定-データセット	0:00:52
11	条件検索-クエリ文との連動	0:02:30
12	条件検索-セルフィルタ	0:01:31

[YouTubeチャンネル](#)

バリューテクノロジー株式会社

FineReport 技術サポート

finereport@value-ict.com

www.finereport.jp